

事業の内容

まちづくり編

区政運営編

まちづくり編

まちづくりの個別目標を単位に、計画事業の内容をボックスに記載しています。

施策体系別実行計画の見方

第1次実行計画事業の内容を、施策体系別に記載しています。

- 第 章 区民が自治の主体として、考え、行動していけるまち
- 第 章 だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち
- 第 章 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち
- 第 章 持続可能な都市と環境を創造するまち
- 第 章 まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち
- 第 章 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

基本目標名 → **安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち**

個別目標名 → 1 **だれもが互いに支え合い、安心してくらせるまち**

基本施策名 → **高齢者とその家族を支えるサービスの充実**

総事業費
・ 枝事業がある場合、構成する枝事業の合計の事業費を示しています。

計画事業名	番号 13111▶	計画事業名	高齢者を地域で支えるしくみづくり	総事業費	159,012	
事業概要	高齢者が地域の一員として尊重され、安心して在宅生活を続けられるよう、広く区民との連携を行うことで地域コミュニティによる日常的な支えあいのしくみをつくります。					
番号 1311▶	枝事業名	高齢者の孤独死対策の推進	所管部	健康部		
内容	75歳以上の一人暮らし高齢者全世帯を対象とする情報紙配布による月2回の定期訪問事業を実施しています。また、区民とともに地域での支えあいのしくみづくりを検討していくことで、高齢者の孤独死ゼロを目指します。					
所管部	平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
・平成19年度時点の組織名です。			20年度	21年度	22年度	23年度
平成19年度末の現況(予定)	・意見交換会等への区民参加170人(シンポジウム1回)	・意見交換会等への区民参加のべ1,000人	・情報紙配布(年24回)			
・19年度末の現況(予定を含む)を示しています。新規事業のため、現況のない場合は、「-」で示しています。また、19年度末時点以外の数値を用いた場合は、その旨表記してあります。			・意見交換会等(町会・自治会、民生委員等) 250人			
			・孤独死防止連絡会議の開催			
事業費(千円)	総事業費 67,816		16,954	16,954	16,954	16,954

当該実行計画期間中の目標(20~23年度)
・ 第一次実行期間内の目標です。

総事業費
・ 4年間の事業費の合計です。単位は千円です

年度別計画
・ 年度ごとの事業内容を記載しています。
・ 「-」となっている場合は、同規模で事業を継続するという意味です。

・ 各年度ごとの事業費を最後に示しています。経費がない場合は「-」で示しています。

区民が自治の主角として、考え、行動していけるまち

1 参画と協働により自治を切り拓くまち

自治の基本理念、基本原則の確立

番号	111110	計画事業名	(仮称)自治基本条例の策定		所管部	企画政策部
事業概要	新宿区における自治の基本理念や基本原則、方向性を明らかにするために、区民、議会、区が協働して(仮称)自治基本条例を策定します。					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
未策定	21年度末までに策定	検討	22年第1回定例会へ条例案を上程・審議			
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-	-

番号	111120	計画事業名	特別区のあり方の見直しと自治権の拡充		所管部	企画政策部
事業概要	住民に最も身近な基礎自治体としての特別区のあり方を見直し、自治権の拡充を図ることで、“自己決定・自己責任”に基づく自立した行財政運営が行えるよう都和協議し、検討していきます。					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・都区のあり方検討委員会への意見反映 ・全国市長会での分権に関する検討	・都から区への更なる権限移譲と適正な財源移譲の実現 ・新たな特別区制度のあり方の検討	都区のあり方検討委員会が、これからの都区のあり方の基本的な方向についてとりまとめる				
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-	-

協働の推進に向けた支援の充実

番号	111210	計画事業名	NPOや地域活動団体等、多様な主体との協働の推進		総事業費	374,842
事業概要	<p>地域を支えるNPOや地域活動団体などの多様な主体との協働を促進するため、地域活動団体等の連携協力・情報交換の場を提供するとともに、「協働推進基金」による財政支援を行います。また、「協働事業提案制度」を拡充することで、地域活動団体等と区の協働を推進していきます。</p>					
番号	111211	枝事業名	協働事業提案制度の拡充		所管部	地域文化部
内容	<p>ボランティア団体・NPOなどの地域活動団体から、その専門性や柔軟性等を活かした事業の提案を公募し、審査の結果、選定された事業を、地域活動団体と区が協働して実施する「協働事業提案制度」を拡充します。</p> <p>(拡充内容) 22年度から、毎年の新規採択事業数を、現在の6事業から、10事業に拡大します。なお、協働で行う事業期間は2年間まで延長可能とします。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・新規採択事業数 6事業	・新規採択事業数を22年度に年10事業程度に拡大	・新規採択事業 6事業 ・前年度継続事業 5事業 計 11事業	・新規採択事業 6事業 ・前年度継続事業 6事業 計 12事業	・新規採択事業 10事業 ・前年度継続事業 6事業 計 16事業	・新規採択事業 10事業 ・前年度継続事業 10事業 計 20事業	
事業費(千円)	総事業費 313,016	63,024	63,174	83,409	103,409	
番号	111212	枝事業名	協働支援会議の運営		所管部	地域文化部
内容	<p>「NPO活動資金助成」や「協働事業提案制度事業」の審査、区が実施する協働事業の評価、協働参画を推進するためのしくみなどの検討を、「協働支援会議」で行っていきます。</p> <p>(拡充内容) 学識経験者1名、非営利活動団体構成員2名、公募区民1名、区内事業者1名、新宿区社会福祉協議会職員1名の委員のうち、区民公募委員を2名拡充し、3名とします。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・NPO活動資金助成、協働事業提案事業の審査 ・協働を推進するためのしくみづくり ・公募区民委員1名	・公募区民を2名増することによる協働支援会議の充実と活性化	・NPO活動資金助成、協働事業提案事業の審査 ・協働を推進するためのしくみづくり ・公募区民委員1名 3名			→	
事業費(千円)	総事業費 6,478	1,618	1,618	1,621	1,621	

番号	111213	枝事業名	協働推進基金を活用したNPO活動資金助成	所管部	地域文化部
内容	<p>区にNPO活動団体登録をしたNPOが行う、区民を対象とした社会貢献事業に対して、区民や事業者からの寄付金と区費を積み立てた「協働推進基金」を活用した助成を行います。</p> <p>(拡充内容) 幅広い団体への育成を目的に、団体登録要件の緩和を検討します。22年度から、年間の助成総額を300万円から400万円に拡充します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・協働推進基金によるNPO活動資金助成 ・助成総額 300万円 ・年間助成申請件数 16件	・団体登録要件拡大による年間助成申請件数の増(年30件)	・協働推進基金によるNPO活動資金助成 助成総額 300万円	助成総額 300万円	助成総額 400万円	助成総額 400万円
事業費(千円)	総事業費 22,389	5,074	5,105	6,105	6,105
番号	111214	枝事業名	NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充	所管部	地域文化部
内容	<p>「新宿区NPOネットワーク協議会」と連携して、新宿区内に本拠地がある社会貢献活動団体のネットワーク作り、地域活動情報の発信、団体の相互支援、地域課題の解決、人材育成の支援を行っていきます。</p> <p>また、その活動拠点として「(仮称)NPOふれあいひろば」を設置し、その運営を支援します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・ネットワーク協議会の運営 ・NPOフォーラムの開催 ・ネットワーク協議会加盟数 21団体(19年度当初) ・NPOフォーラム参加者数 50名(18年度)	・「(仮称)NPOふれあいひろば」の設置 ・ネットワーク協議会加盟数 50団体 ・NPOフォーラム参加者数 120名	・ネットワーク協議会の運営 ・NPOフォーラムの開催 ・「(仮称)NPOふれあいひろば」の検討	・設置	・運営	
事業費(千円)	総事業費 18,716	554	8,054	5,054	5,054
<p>「新宿区NPOネットワーク協議会」とは、新宿区内に本拠地がある社会貢献活動団体、または区内で活動しているNPO、およびそれに類する地域団体が、情報共有・連携・協力して団体活動の充実と安定、発展を図るために設立した団体です。</p>					

番号	111215	枝事業名	地域活動推進のための情報提供	所管部	地域文化部
内容	<p>地域活動に対する区民の意識啓発の促進を図り、区民やNPOやボランティア団体等の地域活動団体及び区が、双方向から情報収集・発信可能なネットワークを形成するための情報拠点として「(仮称)新宿区民活動支援サイト」を「NPOネットワーク協議会」と協働して運営していきます。</p> <p>(拡充内容) サイト加入団体数を30団体から100団体に拡大します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
<ul style="list-style-type: none"> ・「仮称新宿区民活動支援サイト」の構築 ・運営委員会の設置 ・サイト加入団体 30団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト加入団体数 100団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・「仮称新宿区民活動支援サイト」の運営 			→
事業費(千円)	総経費 14,243	3,557	3,562	3,562	3,562

2 コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち

地域自治のしくみと支援策の拡充

番号	112110	計画事業名	町会・自治会及び地区協議会活動への支援	総事業費	215,474
事業概要	<p>町会・自治会に対して、区町会連合会と連携して、その活性化策の検討に取り組むとともに、活性化策の実施を支援します。</p> <p>また、各地区における区政参画の場、地区の課題解決の場として設置された「地区協議会」の活動を支援していきます。「地区協議会」に対しては、地区協議会まちづくり活動を支援するために補助を行うとともに、新たな補助制度の検討を行います。併せて、地区協議会と地域センター管理運営委員会とが連携するしくみについても検討します。</p>				
番号	112111	枝事業名	町会・自治会活性化への支援	所管部	地域文化部
内容	<p>地域の様々な課題に取り組むとともに、地域住民の親睦や地域コミュニティづくりの中心として活動している町会・自治会への加入率の向上を図ります。</p> <p>新宿区では、マンションが多いため、マンション居住者に町会・自治会活動への理解や参加を促す周知活動を行なうとともに、開発業者、マンション管理組合への働きかけを行っていきます。また、今後の町会・自治会活動を担っていく、シニア世代や若年層への周知策についても検討し、実施していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・区町連と連携した「区町連活性化プロジェクトチーム」による活性化策の検討 ・町会・自治会加入世帯数率46.18%(18年度)	・町会・自治会の加入世帯数率55%	・区町連と連携した「区町連活性化プロジェクトチーム」による活性化策の検討 ・支援策の検討・実施	→		→
事業費(千円)	総事業費 6,000	1,500	1,500	1,500	1,500
番号	112112	枝事業名	地区協議会の位置づけの明確化と運営の充実	所管部	地域文化部
内容	<p>地区協議会が、地域住民による「住民自治」の実践の場としてより効果的に活動できるようにするために、地域センター管理運営委員会との連携を検討していきます。</p> <p>また、21年度に策定される予定の「(仮称)新宿区自治基本条例」の中で、「地区協議会」を位置づけていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・地区協議会の位置づけの検討 ・協議会の運営及び連絡会の設置	・地区協議会と地域センターの合同役員会の全地区(10地区)での設置	・地区協議会の位置づけの検討 ・協議会の運営及び連絡会の開催 ・合同役員会立ち上げへの働きかけ	→		→
事業費(千円)	総事業費 125,434	30,142	30,953	31,764	32,575

番号	112113	枝事業名	地区協議会活動への助成	所管部	地域文化部
内容	<p>地区協議会の「地域課題への取り組み」を支援するため「地区協議会まちづくり活動支援補助金」を、地区協議会の活動状況に合わせて交付します。</p> <p>なお、地区協議会の位置づけの明確化が21年度に行われることに合わせ、地区協議会の自主的な活動がより効果的に行えるよう、新たな財政的支援制度の検討を行なっていきます。</p> <p>(拡充内容) 22年度から「新しい財政的支援制度」に移行します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・まちづくり活動支援補助金制度の導入	・新たな財政的支援制度の構築	・「まちづくり活動支援補助金制度」の運営	→	・新たな財政的支援制度の運営	→
事業費(千円)	総事業費 84,040	21,010	21,010	21,010	21,010

コミュニティ活動の充実と担い手の育成

番号	112210	計画事業名	地域を担う人材の育成と活用	総事業費	39,644
事業概要	<p>地域における様々な地域活動や社会貢献活動を活性化するためには、そうした活動を支える人材の育成が重要です。このため、幅広い人たちが地域社会を担っていきけるしくみづくりを進めます。</p>				
番号	112211	枝事業名	地域活動を支える担い手の発掘と人材の育成	所管部	地域文化部
内容	<p>町会・自治会やNPO等の地域活動団体を支える人材育成を目指し、「協働カレッジ」を年2回開催します。</p> <p>講座受講者が、町会・自治会やNPO等の活動に実際に参加する機会をカリキュラムに組み込むことで、実践的な地域活動に結び付けていきます。</p> <p>(拡充内容) 講座に新たに地域参加型のカリキュラムを取り入れます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・17年度からの3か年の受講修了者目標100名	・協働カレッジの受講修了者 期間内累計 160名	・協働カレッジの実施			→
事業費(千円)	総事業費 8,828	1,982	2,282	2,282	2,282

番号	112212	枝事業名	生涯現役塾	所管部	健康部
内容	<p>地域活動に参加したいと考えている団塊の世代等のシニアを対象（おおむね50歳以上）に、NPOやボランティア等の地域活動に関する講座をワークショップ形式で実施し、多様な地域活動への円滑な参加やこれまでの知識や経験を生かして活躍するためのきっかけをつくりま</p> <p>す。</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・地域活動参加割合 18名（受講者数30名の60%） ・地域活動担い手割合 6名（受講者数30名の20%）	・地域活動参加割合 320名（受講者数400名の80%） ・地域活動担い手割合 80名（受講者数400名の20%）	・講座定員100名	・講座定員100名（計200名）	・講座定員100名（計300名）	・講座定員100名（計400名）
事業費（千円）	総事業費 26,040	6,510	6,510	6,510	6,510
番号	112213	枝事業名	生涯学習指導者・支援者バンクの充実	所管部	教育委員会
内容	<p>文化や学習、スポーツなど、生涯学習活動を指導・支援できる地域人材の登録により、区民の生涯学習活動の成果が地域に還元されるしくみであるバンク制度を、新たな生涯学習活動の促進につなげるとともに、登録者の活用が促進されるしくみに再構築します。</p> <p>（拡充内容） 20年度に、現在二つある「文化等学習支援者バンク制度」と「スポーツ指導者バンク制度」を統合します。</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・新宿区内で活動する個人・団体 432登録	・新宿区内で活動する個人・団体 450登録	・文化等学習支援者バンク制度とスポーツ指導者バンク制度の統合 ・レベルアップ研修の充実 ・コーディネートの充実			
事業費（千円）	総事業費 4,776	1,329	959	1,009	1,479

番号	112220	計画事業名	地域センターの整備（戸塚地区）		所管部	地域文化部
事業概要	地域における協働を進め、地域の連帯意識と自治意識を醸成するため、コミュニティ活動の拠点としての地域センターと行政事務所としての特別出張所を戸塚地区で整備します。					
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・9所整備	・10所整備	・（仮称）戸塚地域センターの建設	・（仮称）戸塚地域センターの建設及び開設			
事業費（千円）	総事業費 1,721,327	536,793	1,184,534			

だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち

1 一人ひとりが個人として互いに尊重しあうまち

人権の尊重

番号	121110	計画事業名	成年後見制度の利用促進	所管部	福祉部
事業概要	<p>成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る制度です。具体的には、成年後見人などがこうした人の意思を尊重し、その人らしい生活を守るため、法律上や生活面で支援するしくみです。高齢社会においては今後、その必要性が増していくものと考えられます。19年度に開設した「新宿区成年後見センター」を中心に、成年後見制度の普及啓発や、相談機能の強化等を行い、制度の利用促進を図っていきます。</p> <p>(拡充内容) 22年度から、体制強化を図ります。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・成年後見制度推進機関「新宿区成年後見センター」で、成年後見制度の利用推進	・成年後見制度の普及啓発、利用推進 ・体制強化	・成年後見相談の実施、普及啓発 ・成年後見人の支援 ・推進機関運営委員会の運営			
				・体制強化	
事業費(千円)	総事業費 151,340	32,229	32,229	42,441	44,441

男女共同参画の推進

番号	121210	計画事業名	男女共同参画の推進	総事業費	59,626
事業概要	<p>男女が性別に関わりなく、あらゆる分野に共に参画することのできる男女共同参画社会を実現していくため、意識啓発や相談体制の充実など様々な施策を積極的に行なっていきます。</p>				
番号	121211	枝事業名	男女共同参画への意識啓発	所管部	総務部
内容	<p>男女共同参画への意識を啓発するため、男女共同参画セミナーを開催します。また、区民との協働で区民の問題意識を取り入れた情報啓発誌を発行します。さらに、男女平等や男女共同参画についての意識調査を行い、その結果を今後の事業に反映させていきます。</p> <p>(拡充内容) 22年度に、男女平等・男女共同参画に対する区民意識調査を実施し、実態を把握します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・社会全体における男女の地位の平等観34.3% ・啓発事業参加者数608名/年	・社会全体における男女の地位の平等観50% ・啓発事業参加者数690名/年 ・インターネット情報誌へのアクセス件数2,000件/年	・男女共同参画セミナーの実施 ・講師派遣事業の実施 ・情報誌の発行			
				・男女平等・男女共同参画の意識調査の実施	
事業費(千円)	総事業費 24,624	4,800	4,800	10,224	4,800

番号	121212	枝事業名	女性問題に関する相談体制の充実	所管部	総務部
内容	女性問題に関する相談機関連携会議を通じて、配偶者等暴力（DV）防止のための関係機関との連携を強化します。また、事例研究を通して相談員相互の資質の向上と情報の共有化を図っていきます。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・1年間の女性総合相談新規の受付件数905件/年	・1年間の女性総合相談新規の受付件数950件/年	・女性総合相談の実施 ・女性問題に関する相談機関連携会議の開催 ・DV防止啓発パンフレットの作成			・DV防止啓発パンフレットの作成
事業費（千円）	総事業費 35,002	8,974	8,527	8,527	8,974
番号	121213	枝事業名	区政における女性の参画の促進	所管部	総務部
内容	区政に女性の意見を反映させるために、政策決定過程への女性の参画を促進します。そのため、「審議会等において、一方の性が40%を割らないこと」を目標に、全審議会を対象に登用計画を策定し、比率調査を実施します。さらに、職員に対する区の特定期事業主行動計画（職員のための仕事と子育ての両立支援プラン）の周知や利用促進、進捗状況の報告を求めています。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・審議会等における女性委員の比率35.3% ・全審議会における女性委員のいる審議会の比率84.1%	・審議会等における女性委員の比率40% ・全審議会における女性委員のいる審議会の比率100% ・管理監督者層（管理職・係長級）に占める女性の割合26%	・審議会の女性委員の比率調査 ・男女共同参画行政推進連絡会議の開催 ・職員に対する講演会の開催			
事業費（千円）	総事業費 -	-	-	-	-

個人の生活を尊重した働き方の見直し

番号	121310	計画事業名	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進		総事業費	16,074
事業概要	個人の生活を尊重した働き方の見直しが社会の関心を集めています。仕事と生活の調和を図る、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、推進企業認定制度の実施をはじめ、企業への支援、働きかけを関係部署と連携して推進していきます。					
番号	121311	枝事業名	職場における女性の参画の推進		所管部	総務部
内容	ワーク・ライフ・バランスや男女雇用機会均等などについて積極的に推進している企業を「ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定したり、ワーク・ライフ・バランスを推進するために専門的な側面からの助言や指導が必要な企業に対し、コンサルタントを派遣するなど、働きやすい職場づくりに向けた取り組みを推進します。 (拡充内容) 22年度に、事業者に対する男女平等・男女共同参画の意識調査を実施し、実態を把握します。					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・働きやすい環境・職場づくりに向けた取り組みについて事業者アンケートを実施	・ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数40社 ・コンサルタントを派遣する企業数120社	・推進企業認定数10社 ・コンサルタント派遣企業数30社	・推進企業認定数10社(計20社) ・コンサルタント派遣企業数30社(計60社)	・推進企業認定数10社(計30社) ・コンサルタント派遣企業数30社(計90社)	・推進企業認定数10社(計40社) ・コンサルタント派遣企業数30社(計120社)	
事業費(千円)	総事業費 14,898	2,218	2,218	8,244	2,218	
番号	121312	枝事業名	企業における次世代育成支援の推進		所管部	福祉部
内容	仕事と子育てが両立できる労働環境の整備や、安心して働きやすい職場づくり等を進める企業を「ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定するなど、ワーク・ライフ・バランスの取り組みを進めていきます。					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定開始	・ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数40社	・ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定10社 ・次世代育成支援の啓発	・ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定10社(計20社)	・ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定10社(計30社)	・ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定10社(計40社)	
事業費(千円)	総事業費 1,176	294	294	294	294	

2 子どもの育ち・自立を地域でしっかり応援するまち

地域において子どもが育つ場の整備充実

番号	122110	計画事業名	保護者が選択できる多様な保育環境の整備	総事業費	4,129,193
事業概要	<p>就労機会の増大、価値観やライフスタイルの変化に合わせて、保護者が選択できる保育環境を整備していきます。 私立認可保育所の整備や認証保育所への支援、また幼稚園と保育園の連携・一元化などを進めることにより、多様で多角的な保育環境の整備を図り、保育園入所待機児童の解消を目指します。</p>				
番号	122111	枝事業名	私立認可保育所の整備	所管部	福祉部
内容	<p>老朽化した区立保育所2園（高田馬場第一保育園、中落合第一保育園）を私立の認可保育園に建替えることにより、定員の拡大と地域の保育需要（長時間保育、病後時保育、専用室型一時保育等）に機動的に対応していきます。</p> <p>（拡充内容）私立認可保育園を2所開設</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・私立認可保育園11園	・私立認可保育園2所（計13園）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明（2園） ・高田馬場第一保育園（解体・建設等） ・中落合第一保育園（仮園舎移転） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明（2園） ・高田馬場第一保育園（建設・開設準備） ・中落合第一保育園（解体・建設等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明（1園） ・高田馬場第一保育園（開設・定員拡大） ・中落合第一保育園（建設・開設準備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中落合第一保育園（開設・定員拡大）
事業費（千円）	総事業費 1,850,552	340,720	624,920	464,717	420,195

番号	122112	枝事業名	認証保育所への支援	所管部	福祉部
内容	<p>民間事業者等が区内の駅前に認証保育所を設置する場合、開設準備経費を補助するとともに、区民が認証保育所を利用した場合、運営費を補助します。 また、認証保育所を利用する区民の保育料負担を軽減するため、保育料の一部を助成します。</p> <p>認証保育所を増設することで、既存の認可保育園では対応が難しい、様々な就労形態やライフスタイルにあった保育需要に応えていきます。</p> <p>(拡充内容) A型を2所開設(20年度、21年度)、B型を3所開設(21年度)</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・認証保育所 A型6所	・認証保育所 A型2所(計8所) B型3所	・開設(A型1所) ・運営助成 ・保育料の助成	・開設(A型1所、B型3所)		
事業費(千円)	総事業費 1,927,441	418,369	533,624	487,724	487,724
番号	122113	枝事業名	幼稚園と保育園の連携・一元化	所管部	教育委員会
内容	<p>0歳から小学校就学前までの子どもに対し、その成長と発達を見据えた一貫した保育と幼児教育を実施するとともに、家庭と地域の子育て力の向上を図ることを目的として、幼稚園と保育園を一元化した子ども園を整備します。</p> <p>計画期間で、西新宿幼稚園の建物を増築、改修し、西新宿幼稚園と西新宿保育園の機能を統合した(仮称)西新宿子ども園を23年4月に開設します。</p> <p>(拡充内容) 子ども園を1所開設(23年度)</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・四谷子ども園1園	・(仮称)西新宿子ども園の開設1園(計2園)	・設計	・増築工事	・増築、改修工事	・(仮称)西新宿子ども園の開設
事業費(千円)	総事業費 351,200	12,000	163,000	176,200	

番号	122120	計画事業名	子どもの居場所づくりの充実	総事業費	2,830,743
事業概要	子どもがさまざまな体験や遊びをできる「子どもの居場所づくり」を充実し、遊びや自主的な活動を通じて、子どもの成長する力を伸ばしていきます。				
番号	122121	枝事業名	放課後子どもひろばの拡充	所管部	福祉部・教育委員会
内容	学校施設を活用して、放課後に子どもたちが自由に集い、自分で遊び・考え、子ども同士が交流できる遊びと学びの場として、「放課後子どもひろば」を小学校で実施します。 (拡充内容) 20、21、22年度に各6校、23年度に5校を実施				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・放課後子どもひろばの実施6小学校 (鶴巻小、富久小、戸山小、戸塚第二小、落合第四小、柏木小)	・放課後子どもひろばの実施23校 (小学校全校で実施計29小学校)	・放課後子どもひろばの実施6校 (計12小学校)	・放課後子どもひろばの実施6校 (計18小学校)	・放課後子どもひろばの実施6校 (計24小学校)	・放課後子どもひろばの実施5校 (計29小学校)
事業費(千円)	総事業費 1,231,780	184,170	266,970	356,270	424,370
番号	122122	枝事業名	学童クラブの充実	所管部	福祉部
内容	学童クラブ利用の需要の増加に対応するため、学校施設等の活用及び民間学童クラブの誘致により、新たな学童クラブを開設します。また、通常時の平日夕方6時以降や小学校の長期休業中の朝9時以前の保育需要に応えるため、児童指導業務委託などにより、延長利用ができる学童クラブを増やしていきます。 (拡充内容) 学童クラブ 2所開設(21年度 四谷第六小学校内、23年度 旧東戸山中学校) 児童指導業務委託 7所(21年度 信濃町、四谷第六小学校内 22年度 高田馬場第一、2所未定 23年度 富久町、旧東戸山中学校) 民間学童クラブ運営費助成 1所				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・児童指導業務委託7所 ・民間学童クラブ運営費助成3所 ・学童クラブ24所	・児童指導業務委託7所(計14所) ・民間学童クラブ運営費助成1所(計4所) ・学童クラブ2所開設(計26所)	・児童指導業務委託(計7所) ・民間学童クラブ運営費助成1所(計4所)	・児童指導業務委託2所(計9所) ・民間学童クラブ運営費助成(計4所) ・学童クラブ1所開設	・児童指導業務委託3所(計12所) ・民間学童クラブ運営費助成(計4所)	・児童指導業務委託2所(計14所) ・民間学童クラブ運営費助成(計4所) ・学童クラブ1所開設
事業費(千円)	総事業費 1,598,963	271,544	392,131	444,521	490,767

地域で安心して子育てができるしくみづくり

番号	122210	計画事業名	地域における子育て支援サービスの充実	総事業費	645,222
事業概要	地域の中で安心して、子育てができ、子どもたちが健やかに育つように、子育てに関する相談体制や子育て支援サービスの充実を図ります。				
番号	122211	枝事業名	子ども家庭支援センターの拡充	所管部	福祉部
内容	<p>乳幼児や中高校生等の居場所を整備するとともに、子育ての悩みや不安を相談できる体制の整備と、要保護児童支援のしくみの充実を目指し、今までの児童館・児童センターを、子ども家庭支援センターと児童館の機能を融合させた「子ども家庭支援センター（地域型）」として、2所整備します。</p> <p>（拡充内容）子ども家庭支援センター（地域型）を2所開設（21年度 信濃町、榎町）</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・子ども家庭支援センター1所（中落合）	・子ども家庭支援センター2所（計3所）	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援センターの開設準備 ・派遣研修（東京都児童相談センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援センター地域型2所開設（信濃町、榎町） 		
			<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援システムの導入 		
事業費（千円）	総事業費 291,437	17,992	97,231	88,107	88,107

番号	122212	枝事業名	一時保育の充実	所管部	福祉部・教育委員会
内容	<p>日中一時的に子どもの保育が必要になった時に、保育施設（保育園・保育室・家庭福祉員）では生後6カ月から就学前の子どもの対象に一時保育を実施し、在宅で子育てしている家庭を支援します。</p> <p>一時保育には、空き利用型と専用室型の2通りがあります。空き利用型は、クラス定員に余裕がある場合、1名の利用を限度とします。専用室型は、一時保育専用室と専任職員を常備し、原則、1日10名の利用を限度とします。</p> <p>なお、認可保育所等においては、改築等の際に専用室の整備を図るとともに、今後、開設を計画している子ども園では専用室型一時保育を実施していきます。</p> <p>（拡充内容）専用室型を2所開設（22年度 私立認可保育園〔高田馬場第一保育園〕、23年度（仮称）西新宿子ども園）</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・空き利用型33所（公立保育園24所、私立保育園9所） ・専用室型4所（原町みゆき保育園、富久町保育園、新宿せいが保育園、四谷子ども園）	・専用室型2所（計6所）	・一時保育の実施（空き利用型・専用室型）	・一時保育の実施（空き利用型・専用室型）	・一時保育の実施（空き利用型・専用室型） ・専用室型1所開設（私立認可保育園〔高田馬場第一保育園〕）	・一時保育の実施（空き利用型・専用室型） ・専用室型1所開設（西新宿子ども園）
事業費（千円）	総事業費 297,238	63,716	63,716	82,147	87,659
番号	122213	枝事業名	ひろば型一時保育の充実	所管部	福祉部
内容	<p>身近なところで短時間、乳幼児を預かることにより、在宅で子育てしている家庭を支援していきます。</p> <p>対象は、生後6ヶ月から小学校就学前まで、一回の利用は、4時間以内とします。</p> <p>（拡充内容）ひろば型を1所開設（21年度 榎町子ども家庭支援センター）</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・ひろば型1所（地域子育て支援センター二葉）	・ひろば型1所（計2所）	・ひろば型一時保育の実施（1所）	・ひろば型一時保育の実施（2所） ・開設1所（榎町子ども家庭支援センター）		→
事業費（千円）	総事業費 38,084	5,266	11,006	10,906	10,906

番号	122214	枝事業名	絵本でふれあう子育て支援事業	所管部	教育委員会
内容	<p>乳幼児の心健やかな成長を促すため、親子がふれあい楽しく育児ができるよう、保健センターで実施している乳幼児健診の際に絵本の配付と読み聞かせを行い、子どもが読書に親しめる環境づくりを支援します。</p> <p>(拡充内容) 21年度から、絵本配付と読み聞かせの対象に3歳児を加えます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・健診時の読みきかせ参加者の割合 92%	・健診時の読みきかせ参加者の割合 95%	・乳幼児健診での絵本配付と読み聞かせ 3~4ヶ月			→
			・乳幼児健診での絵本配付と読み聞かせ 3歳児		→
事業費(千円)	総事業費 18,463	4,396	4,689	4,689	4,689

特別な支援を必要とする子どもや家庭への支援と自立促進

番号	122310	計画事業名	子ども発達センターの移転と児童デイサービスの拡充	所管部	福祉部
事業概要	<p>心身に障害のある子どもや発達に遅れのある子どもの発達支援と、家族への支援を一層推進するために、「子ども発達センター」を現在併設されている「あゆみの家」から分離し、旧東戸山中学校の施設へ移転します。</p> <p>新施設においては、子育てに関わる誰もがより気軽に相談できる環境を提供していきます。また、現在、学齢前の子どもを対象としている児童デイサービスを小学生低学年まで拡大し、軽度発達障害児を中心とした発達支援を行っていきます。</p> <p>(拡充内容) ・子ども発達センターを旧東戸山中学校の施設へ移転 ・児童デイサービスの対象を学齢前の子どもから小学生低学年まで拡大</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・相談件数 年間191件	・相談件数 年間280件	・拡充事業検討 ・施設整備			・児童デイサービス拡大 ・「あゆみの家」からの分離、移転
事業費(千円)	総事業費 135,834	24,132	24,132	24,182	63,388

子どもの安全と子どもを守る環境づくり

主な経常事業

- | | |
|----------|---|
| 学校安全対策 | 子どもが犯罪に巻き込まれないよう、学校に非常通報装置（学校110番）を設置するとともに、登下校時の見守りやパトロールに取り組む安全ボランティア活動に対し、活動物品の購入等の支援を行っています。 |
| 学童交通安全対策 | 交通安全対策の一環として、区立小学校1年生を対象に、交通安全意識啓発用のランドセルカバーや黄色い帽子、下敷きの配布を行っています。また、通学路全域図（カラー）についても各小・中学校へ配布しています。 |

3 未来を担う子どもの、一人ひとりの生きる力を育むまち

子どもの生きる力を伸ばす学校教育の充実

番号	123110	計画事業名	特色ある教育活動の推進			所管部	教育委員会	
事業概要	各学校(園)の中・長期的な視点に立った特色ある教育活動の展開を具現化するため、「特色ある学校づくり教育活動計画」や各校の教育目標に沿って、計画的な学習活動を実施します。							
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・総合的な学習の時間の実施 ・校内研修会の実施 ・校内研究発表会	・「特色ある学校づくり教育活動計画」に基づく学習・研究活動の実施	・学習、研究活動の実施					→	
事業費(千円)	総事業費 168,000	42,000	42,000	42,000	42,000		42,000	

番号	123120	計画事業名	特別な支援を必要とする児童生徒への支援	総事業費	489,840			
事業概要	<p>これまで、障害のある幼児・児童・生徒の教育は、障害の種類や程度に応じて特別の場で指導を行う「特殊教育」(東京都では心身障害教育)として行われてきました。一方、今後取り組む「特別支援教育」では、障害のある幼児・児童・生徒一人ひとりの自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、適切な指導や必要な支援を行います。また、これまでの心身障害教育の対象に加え、通常の学級に在籍するLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等の発達障害のある幼児・児童・生徒に対しても、その能力を最大限に伸ばし、成長・発達するよう、学校内の指導体制への支援及び就学相談の充実、教育環境の整備を図ります。</p> <p>さらに、編入してきた外国籍児童・生徒などのために、学校において、日本語及び学校生活に関する適応指導を行います。</p>							
番号	123121	枝事業名	巡回指導・相談体制の構築	所管部	教育委員会			
内容	<p>教育センター内に設置した特別支援教育センターを拠点に、医師・学識経験者や心理職などで構成する、専門家による支援チームの巡回相談・助言を行い、発達障害のある幼児・児童・生徒に対する適切な指導や必要な支援を行います。また、区費非常勤講師を学校に派遣し、発達障害のある幼児・児童・生徒への適切な教育的指導を行うなど、学校内指導体制を支援します。</p> <p>さらに、発達障害のある幼児・児童・生徒のニーズに応えるためにはよりきめの細かい就学相談が必要であることから、発達検査等による専門的かつ客観的判断と保護者への説明ができる臨床心理士(非常勤)を就学相談担当に配置します。</p>							
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・幼稚園3園 ・小学校29校 ・中学校11校に派遣	・小、中学校全40校及び独立幼稚園全4園への派遣 ・就学相談臨床心理士1名配置	教育研究調査員(3名) 特別支援教育推進員(20名) 専門家支援チーム(大学教授・心理士等) 就学相談(臨床心理士1名)					→	
事業費(千円)	総事業費 313,708	78,427	78,427	78,427	78,427		78,427	

番号	123122	枝事業名	情緒障害等通級指導学級の設置	所管部	教育委員会
内容	<p>通級指導が必要な発達障害等の児童・生徒への支援を充実させるため、区立小・中学校に情緒障害等通級指導学級を増設・新設します。</p> <p>(拡充内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1学級増設 ・中学校1校2学級新設 				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・小学校2校6学級(天神小、戸塚第二小) ・中学校1校2学級(落合第二中)	・小学校1学級増設(計2校7学級) ・中学校1校2学級新設(計2校4学級)	・通級指導学級(天神小学校)1学級増設 ・中学校設置の調査、検討	・通級指導学級(中学校)1校新設工事	・通級指導学級(中学校)1校開設	・通級指導学級(小学校)設置の調査、検討
事業費(千円)	総事業費 34,292	3,383	27,093	2,133	1,683
番号	123123	枝事業名	日本語サポート指導	所管部	教育委員会
事業概要	<p>区立学校に編入した外国籍児童・生徒などが日本語の授業を理解できるように、学校へ日本語適応指導員を派遣し、日本語及び学校生活に関する適応指導を行います。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・日本語適応指導員の派遣 小学校50時間 中学校60時間 幼稚園40時間	・日本語を母語としない子どもが日常の授業が受けられる程度の日本語の習得を目指す	・日本語適応指導員の派遣			→
事業費(千円)	総事業費 141,840	35,460	35,460	35,460	35,460

学習や生活の場にふさわしい魅力ある学校づくり

番号	123210	計画事業名	学校適正配置の推進			総事業費	3,518,068	
事業概要	よりよい教育環境をつくるため、学校の規模や配置について検討を行うとともに、学校施設の計画的な整備を行い、児童・生徒の学習や生活の場としてふさわしい学校づくりを進めます。また、学校適正配置計画に基づき統合新校を整備する際には、地域コミュニティの拠点として、地域に開かれた学校施設として整備します。							
番号	123211	枝事業名	学校適正配置の推進（牛込地区）			所管部	教育委員会	
内容	19年度に設置した牛込地区学校適正配置に関する懇談会からの意見を参考にし、牛込地区における学校適正配置に取り組みます。							
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・学校適正配置に関する懇談会を設置（牛込地区）	・牛込地区における学校適正配置の推進	・PTA代表、学校評議員代表、地域代表等との協議					→	
事業費（千円）	総事業費 4,368	1,092	1,092	1,092	1,092		1,092	
番号	123212	枝事業名	学校施設の計画的整備（西戸山地区中学校）			所管部	教育委員会	
内容	第七次学校適正配置計画に基づき、23（2011）年4月から西戸山中学校と西戸山第二中学校を統合し、「新宿西戸山中学校」として開校します。統合新校は、西戸山中学校が、20（2008）年3月に旧戸山中学校へ移転した後の校地に建設します。							
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・設計委託等	・23年4月統合新校開校	・解体工事	・建設工事	・建設工事			・新宿西戸山中学校開校	
事業費（千円）	総事業費 3,513,700	183,000	997,310	2,330,890			2,500	

番号	123220	計画事業名	学校施設の改善	所管部	教育委員会
事業概要	<p>学校施設の良好な教育環境を確保するための環境整備を行います。</p> <p>小・中学校の普通教室、図書室及び特別教室のうち音楽室とコンピュータ室については、既に空調整備を完了しています。本計画では残りの特別教室のうち、学習指導要領に定められている教科指導を行う教室、少人数学習で使用する教室及びPTAや地域の活動に使用する会議室の空調整備を行います。</p> <p>(拡充内容) 本計画による整備をもって、学校施設における空調化整備は完了します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・小、中学校の普通教室、図書室、音楽室、コンピュータ室の空調化完了	・小、中学校の空調整備割合 100%	・小学校 空調整備工事 14校 (78室)	・小学校 空調整備工事 14校 (79室)	・中学校 空調整備工事 7校(64室) レンタル2校 (14室)	
事業費(千円)	総事業費 1,031,500	355,000	360,000	316,500	

家庭や地域がともに育てる協働と連携による教育環境づくり

番号	123310	計画事業名	地域との協働連携による学校の運営	総事業費	22,932
事業概要	<p>今後目指す学校は、地域に信頼され地域に支えられる学校です。</p> <p>このため、地域の住民や保護者などが学校運営や学校評価に参画する新たなしくみを創り、地域と協働連携した学校運営を行っていきます。</p>				
番号	123311	枝事業名	地域協働学校(コミュニティ・スクール)の推進	所管部	教育委員会
内容	<p>18、19年度に四谷中学校で実施したコミュニティ・スクール研究調査の成果を踏まえ、20年度に同校を地域協働学校(コミュニティ・スクール)に指定します。指定した四谷中学校の取組みの検証を踏まえ、順次、地域協働学校の指定校を増やしていきます。</p> <p>地域協働学校(コミュニティ・スクール)とは、地域住民・保護者・学校職員等で組織した委員会(地域協働学校運営協議会)が授業・学校行事など学校運営に関して、地域・保護者等の目からみた問題点や改善点等の評価を行うとともに、学校運営に参画するシステムが構築された学校です。</p> <p>(拡充内容) 地域協働学校(コミュニティ・スクール)の実施</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・研究調査校(四谷中)	・地域協働学校(コミュニティ・スクール)の指定(3校)	・地域協働学校指定校1校(四谷中) ○四谷中の取組み検証	・地域協働学校指定校1校(四谷中) ○四谷中の取組み検証	・地域協働学校指定校2校(四谷中、他1校)	・地域協働学校指定校3校(四谷中、他2校)
事業費(千円)	総事業費 1,772	446	446	352	528

番号	123312	枝事業名	学校評価の充実	所管部	教育委員会
内容	<p>学校評価はこれまで、教職員による評価と保護者・地域による外部評価により行ってきました。今後は、文部科学省が示した「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に基づいた、新たな学校評価へ移行します。</p> <p>新たな学校評価では、教職員による内部評価、子どもや保護者、学校評議員による関係者評価、地域住民・学識経験者等による第三者評価、を位置づけており、の第三者評価が新しいしくみとして考えられています。</p> <p>新宿区では、19年度に行っている新たな学校評価のしくみにかかる検討結果を踏まえ、20、21年度は四谷中学校で調査研究を実施し、その調査研究結果を検証したうえで、22年度から新たな学校評価を全校に導入していきます。なお、第三者評価は2年に1度実施します。</p> <p>また、18年度に実施した、児童・生徒、保護者、学校評議員、教職員を対象とした確かな学力の育成に関する意識調査については、今後毎年実施します。</p> <p>(拡充内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな学校評価システムの導入 ・意識調査の毎年実施 				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・新たな学校評価の検討	・新たな学校評価の導入、全校実施	・新たな学校評価の調査研究 ・意識調査実施	→	・新たな学校評価導入、実施校(20校)	・新たな学校評価導入、実施校(20校)
事業費(千円)	総事業費 21,160	3,580	3,580	7,000	7,000

番号	123320	計画事業名	家庭の教育力向上支援	所管部	教育委員会
事業概要	<p>入学前の保護者が集まる健康診断や保護者会の機会を活用し、学校との連携による子どもの仲間づくりプログラムや、入学を機に保護者としての意識を再認識するためのワークショップ、親子のコミュニケーションをテーマとしたプログラム等を実施し、家庭の教育力向上を支援するとともに、子どもと親と学校の良好な関係をつくります。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・平成19年度から全校実施。ワークショップ等への参加率92.1%	ワークショップ等への参加率100%	全小学校で2回実施			→
事業費(千円)	総事業費 23,100	5,775	5,775	5,775	5,775

4 生涯にわたって学び、自らを高められるまち

生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実

番号	124110	計画事業名	総合運動場及びスポーツ環境の整備	総事業費	360,720
事業概要	スポーツ・文化活動の場を整備し、子どもから高齢者までが個々の目的やレベルに応じて多様なスポーツ・文化活動に親しめる環境を充実していきます。				
番号	124111	枝事業名	総合運動場の整備	所管部	教育委員会
内容	<p>区民のスポーツの場を拡充するため、都立戸山公園内に総合運動場の整備を検討します。そのため、都へ都立戸山公園の整備を強く働きかけていきます。</p> <p>(拡充内容) 20年度に、総合運動場整備検討委員会を設置し、23年度に整備計画を策定します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
総合運動場早期建設の整備促進	・総合運動場整備検討委員会設置	・総合運動場整備検討委員会			総合運動場整備計画策定
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-
番号	124112	枝事業名	スポーツ施設の整備	所管部	教育委員会
内容	<p>老朽化したスポーツ施設を整備するとともに、新たに求められる機能や利用種目の変化に対応するために多目的化を図るなど、レベルアップ工事も併せて実施します。</p> <p>(拡充内容) ・落合中央公園野球場の人工芝張替え ・落合中央公園庭球場のハードコートをおムニコート化し、多目的化 ・甘泉園公園庭球場のハードコートのオムニコート化による多目的化と温水シャワーの設備化</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・既存のスポーツ施設は、建設から15年以上経過している	・3所のスポーツ施設を改修	・落合中央公園野球場の人工芝改修 ・落合中央公園庭球場の改修	・甘泉園公園庭球場の改修		
事業費(千円)	総事業費	220,804	20,000		

番号	124113	枝事業名	総合型地域スポーツ・文化クラブの設立・活動支援	所管部	教育委員会
事業概要	子どもから高齢者までが個々の目的やレベルに応じて多様なスポーツ・文化活動に親しめる「総合型地域スポーツ・文化クラブ」の設立を推進し、区民主体の自立したクラブ運営を支援します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・小学校校庭開放、スポーツ交流会、子どもの居場所づくりを統合	・設立推進	・地域スポーツ、文化事業(年60回×40校)			→
事業費(千円)	総事業費 139,916	34,979	34,979	34,979	34,979

中央図書館の再構築

番号	124210	計画事業名	新しい中央図書館のあり方の検討	所管部	教育委員会
事業概要	中央図書館の役割や機能を抜本的に見直し、IT社会に対応した情報センターとしての機能を強化した新中央図書館の整備を検討します。 施設整備は、旧戸山中学校を移転先としていきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・現中央図書館は、築37年を経過	・新中央図書館の設計等	・新中央図書館の整備調査、検討		→	
事業費(千円)	総事業費 2,480	-	1,140	1,340	-

図書館機能の充実

番号	124310	計画事業名	図書館サービスの充実	総事業費	54,362
事業概要	IT等を活用し、利用者のニーズやインターネット社会に対応した図書館サービスの充実を図り、地域におけるコミュニティや知の拠点をめざします。				
番号	124311	枝事業名	図書館IT化の推進	所管部	教育委員会
内容	<p>図書館内にインターネットが利用できる利用者向けパソコンを設置します。また、中央図書館では、CD-ROMや有料データベースを活用したIT化を進め、利用者がパソコンを持ち込め利用できるような閲覧スペースを設置するなど、多様な情報収集手段を提供することで、利便性の向上を図ります。</p> <p>(拡充内容) インターネット利用可能な利用者端末を20年度全館に設置します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・利用者用IT機器 0台	<ul style="list-style-type: none"> ・全館導入中央図書館4台 ・その他地域館計8台 ・閲覧スペースの設置(中央図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット利用可能な利用者端末の全館設置 ・閲覧スペースの設置(中央図書館) 	・保守管理	→	
事業費(千円)	総事業費 17,354	16,598	252	252	252
番号	124312	枝事業名	区民に役立つ情報センター	所管部	教育委員会
内容	<p>IT機能を装備したレファレンス専用カウンターを設置し、利用者の研究調査や資料検索に対して、ワンストップサービスを行います。</p> <p>また、地域資料等のデータベース化により、資料や情報の体系化を図り、必要な地域情報を迅速に提供できる環境を整えます。併せて、職員のレファレンス能力向上を図り、質の高いサービスを行います。</p> <p>(拡充内容) ・レファレンス専用カウンターの設置 ・地域資料等のデータベース化</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・レファレンス件数 30件/1日	・レファレンス件数 60件/1日	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス専用カウンターの設置 ・地域資料等データベース化 	→		
事業費(千円)	総事業費 37,008	10,754	9,254	8,500	8,500

番号	124320	計画事業名	子ども読書活動の推進			所管部	教育委員会
事業概要	<p>「第二次新宿区子ども読書活動推進計画」(H20～H24)に基づき、子どもが、自主的に読書活動を行うことができるように、読書に関する親力の向上講座・読書塾・学校図書館への司書派遣など読書環境を整備します。</p>						
平成19年度末の現況(予定)		年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・図書館を利用した子ども 97,414人 (18年度)	・図書館を利用した子ども 115,000人 (20%UP)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童図書の充実 ・病院配本サービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に関する親力の向上講座 ・読書塾の開設 ・学校図書館への図書館司書派遣 	→	→		
事業費(千円)	総事業費 30,704	7,626	7,746	7,706	7,626		

5 心身ともに健やかにくらすまち

一人ひとりの健康づくりを支える取組みの推進

番号	125110	計画事業名	歯から始める子育て支援	総事業費	169,073
事業概要	子どもの歯科保健課題が、むし歯予防から歯並びや口腔機能に関するものに変化してきています。そのため、従来のむし歯予防事業を充実させることに加え、健全な口腔機能の発達を目指す事業を展開していきます。				
番号	125111	枝事業名	歯から始める子育て支援体制の構築	所管部	健康部
内容	子どもと子育て中の保護者の歯科保健を支えるため、区内歯科医療機関従事者や保育士等の子育て支援専門職をデンタルサポーターとして養成します。また、平成21(2009)年度から、小学校就学前の2歳児から5歳児までを対象に、身近な歯科医療機関での歯と口の健康チェックと保健指導、無料のフッ化物歯面塗布事業を行います。 (拡充内容) 2歳児から5歳児までを対象に、無料のフッ化物歯面塗布事業を開始します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・デンタルサポーターの数 90人 (区内歯科医療機関数の20%以上) ・フッ化物を利用している子どもの率 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・デンタルサポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物歯面塗布事業 	→	→
事業費(千円)	総事業費 165,365	182	55,061	55,061	55,061
番号	125112	枝事業名	もぐもぐごっくん支援事業	所管部	健康部
内容	乳幼児の保護者からの口腔機能全般に関する相談に応じることで不安を取り除くとともに、適切な指導により健全な母子関係と乳幼児の健やかな発達を促すため、各保健センターにおいて「お口の機能(飲み込み・嘔み方・歯並び等)」講習会の開催や個別相談を実施します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会参加者数 480人 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催 4回 ・個別相談の実施 24回 	→	→	→
事業費(千円)	総事業費 3,708	927	927	927	927

番号	125120	計画事業名	食育の推進		所管部	健康部	
事業概要	<p>新宿区の目指す「食育」の概念や目標について、必要性や区民参加の重要性を普及啓発するための講演会を実施します。また、食育ボランティアを育成するとともに児童館や子ども料理教室等における「食育」活動の支援を行います。</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
-	<ul style="list-style-type: none"> 食育ボランティアの登録者数 80人 食育の内容を知っている人の割合 50%以上 食事バランスガイドの内容を知っている人の割合 50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会の開催 5回 食育ボランティアの育成・活動支援 20人 食育フォーラムの開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会の開催 7回 食育ボランティアの育成・活動支援 20人 (計 40人) 	<ul style="list-style-type: none"> 食育ボランティアの育成・活動支援 20人 (計 60人) 	<ul style="list-style-type: none"> 食育ボランティアの育成・活動支援 20人 (計 80人) 食育ボランティア活動報告会 1回 		
事業費(千円)	総事業費	4,846	945	1,153	1,317	1,431	

番号	125130	計画事業名	元気館事業の充実		所管部	健康部	
事業概要	<p>これまでの元気館事業に加えて、生活習慣病予防(メタボリックシンドローム対策)を実現するため、メタボ講座の開催、シェイプアップ教室における栄養指導講座、運動の重要性に関する普及啓発事業等を実施することで、内容の一層の充実を図ります。また、おおむね65歳以上の介護予防教室修了者等の高齢者を対象に、バランスボール等を使用した運動機能の向上に資するトレーニング(高齢者筋力向上事業)も行っています。</p> <p>(拡充内容)メタボ講座等の開催によるメタボリックシンドローム対策を行います。</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・健康増進プログラムの利用率 58.9%	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進プログラムの利用率 65% 	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進プログラムの充実 施設貸出事業 高齢者筋力向上事業 					
事業費(千円)	総事業費	173,738	43,411	43,458	43,411	43,458	

多様化する課題に対応した保健・公衆衛生の推進

番号	125210	計画事業名	新型インフルエンザ対策の推進	所管部	健康部
事業概要	<p>区は平成18(2006)年度に「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しましたが、今後、発生状況に合わせた具体的な対策を講じるための体制整備、関係機関との連携強化により、健康危機管理体制を充実するための訓練や発生時に備えた備蓄用品、装備品等の整備を行います。</p> <p>(拡充内容) 20年度に、訓練及び発生時に備えた予防薬や防護服等を整備します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・防護服の整備数量 75セット ・研修・訓練の実施 訓練1回以上	・防護服の整備数量 3,000セット ・研修、訓練の実施 研修4回以上、訓練8回以上	・備蓄用品、装備品の整備 ・研修、訓練の実施 ・連絡会の運営 ・普及啓発	・備蓄用品、装備品の補充	→	・備蓄用品、装備品の補充・更新 → → →
事業費(千円)	総事業費 23,120	19,660	900	900	1,660

番号	125220	計画事業名	エイズ対策の推進	所管部	健康部
事業概要	<p>エイズ及び性感染症の感染予防及び社会的偏見の解消のために、成人式での啓発、講演会、パンフレットの作成配布により、正しい知識の普及啓発を図ります。相談・検査にあたっては、匿名で行うとともに、4か国語で受けられるなど、外国人を含めて、相談受診しやすい体制をとっています。あわせて検査前後のカウンセリング体制の継続・充実や早期発見・早期治療を進め、まん延防止を図ります。</p> <p>(拡充内容) 20年度に、アルタビジョン新宿の映像原稿を更新します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・HIV抗体・性感染症検査 844人/年	・HIV抗体・性感染症検査900人/年	・エイズ、性感染症の検査及び相談 ・正しい知識の普及啓発			→ →
事業費(千円)	総事業費 40,373	10,487	9,962	9,962	9,962

安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち

1 だれもが互いに支え合い、安心してくらするまち

高齢者とその家族を支えるサービスの充実

番号	131110	計画事業名	高齢者を地域で支えるしくみづくり	総事業費	159,012
事業概要	高齢者が地域の一員として尊重され、安心して在宅生活を続けられるよう、広く区民との連携を行うことで地域コミュニティによる日常的な支えあいのしくみをつくりまします。				
番号	131111	枝事業名	高齢者の孤独死対策の推進	所管部	健康部
内容	75歳以上の一人暮らし高齢者世帯を対象とする情報紙配布による月2回の定期訪問事業を実施しています。また、区民とともに地域での支えあいのしくみづくりを検討していくことで、高齢者の孤独死ゼロを目指します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・意見交換会等への区民参加170人(シンポジウム1回)	・意見交換会等への区民参加のべ1,000人	・情報紙配布(年24回) ・意見交換会等(町会・自治会、民生委員等)250人 ・孤独死防止連絡会議の開催			→
事業費(千円)	総事業費 67,816	16,954	16,954	16,954	16,954
番号	131112	枝事業名	認知症高齢者を地域で支えるしくみづくり	所管部	健康部
内容	高齢者が認知症になっても住みなれた地域で安心して暮らし続けられるようにするため、地域の様々な構成員による認知症サポーターを育成し、気付きと支援の輪を広げます。また、高齢者相談・窓口職場等の区職員に対し、認知症高齢者の早期発見や対応方法等に関する研修や学習会を行います。 (拡充内容)認知症サポーターを毎年450人ずつ育成します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・体制の検討	・認知症サポーターの育成1,800人 ・職員の研修400人	・認知症サポーターの育成450人 ・職員研修100人	・認知症サポーターの育成450人(計900人) ・職員研修100人(計200人)	・認知症サポーターの育成450人(計1,350人) ・職員研修100人(計300人)	・認知症サポーターの育成450人(計1,800人) ・職員研修100人(計400人)
事業費(千円)	総事業費 7,156	1,789	1,789	1,789	1,789

番号	131113	枝事業名	地域見守り活動の推進		所管部	健康部
内容	<p>65歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で希望する方に、地域のボランティアからなる「見守り協力員」が月2回程度訪問し、声かけや安否の確認を行います。</p> <p>(拡充内容)見守り協力員を毎年30人程度増やしていきます。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・見守り協力員 277人 ・見守り対象者 484人	・見守り協力員 400人 ・見守り対象者 680人	・見守り協力員 300人 ・見守り対象者 510人	・見守り協力員 340人 ・見守り対象者 580人	・見守り協力員 370人 ・見守り対象者 630人	・見守り協力員 400人 ・見守り対象者 680人	
事業費(千円)	総事業費 84,040	21,010	21,010	21,010	21,010	

番号	131120	計画事業名	介護保険サービスの基盤整備		総事業費	922,018
事業概要	<p>第3期介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス及び特別養護老人ホーム等を整備します。</p> <p>なお、平成20(2008)年度に策定する第4期介護保険事業計画を踏まえ、平成21(2009)年度からの整備計画の見直しを行っていきます。</p>					
番号	131121	枝事業名	地域密着型サービスの整備		所管部	健康部
内容	<p>平成22(2010)年度までに、地域密着型サービス(小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者グループホーム、小規模特別養護老人ホーム)の区内整備を民設民営方式により進めます。矢来町都有地及び東戸山中学校跡地を候補地として検討します。</p> <p>(拡充内容)小規模多機能型居宅介護施設を3所、認知症高齢者グループホームを2所、小規模特別養護老人ホームを1所開設します。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・小規模多機能型居宅介護サービス 6所 149人 ・認知症高齢者グループホーム 5所 75人 ・小規模特別養護老人ホーム 未整備	・小規模多機能型居宅介護サービス 3所 75人 ・認知症高齢者グループホーム 2所 36人 ・小規模特別養護老人ホーム 1所 29人	・小規模多機能型居宅介護公募 2所 50人 ・工事(矢来町・東戸山)	・工事(矢来町) ・開設(東戸山)小規模多機能型居宅介護 1所 25人、認知症高齢者グループホーム 1所 18人、小規模特別養護老人ホーム 1所 29人 ・第4期介護保険事業計画による	・開設(矢来町)認知症高齢者グループホーム 1所 18人		
事業費(千円)	総事業費 512,018	130,048	381,970	-	-	

番号	131122	枝事業名	特別養護老人ホーム等の整備	所管部	健康部
内容	<p>20年度に百人町四丁目国有地を活用した特別養護老人ホーム（定員100人、ショートステイ10人併設）を開設するとともに、22（2010）年度末までに、矢来町所有地を活用した特別養護老人ホーム（定員80人程度、ショートステイ10人程度）の整備を民設民営方式により進めます。</p> <p>（拡充内容）特別養護老人ホーム等を2所開設します。</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標(20～23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・区内4所 270人	・2所整備 (区内計6所 450人)	・開設(百人町四丁目)1所 100人、ショートステイ10人併設 ・工事(矢来町)	・工事(矢来町) ・第4期介護保険事業計画による	・開設(矢来町)1所 80人程度、ショートステイ10人程度	→
事業費(千円)	総事業費 410,000	123,000	287,000	-	-

障害のあるひととその家族の生活を支えるサービスの充実

番号	131210	計画事業名	障害者の福祉サービス基盤整備	総事業費	128,355
事業概要	<p>障害者自立支援法に基づく新体系に即した施設・グループホーム等の設置、整備を促進し、障害者の地域生活を支援します。</p>				
番号	131211	枝事業名	障害者入所支援施設(知的)等の設置促進	所管部	福祉部
内容	<p>入所待機者の解消と、地域で在宅生活を送る障害者やその介護者への支援体制の充実を図るため、障害者入所支援施設(知的障害者対象)及び日中活動サービス等の実施を計画する社会福祉法人に対し、建設費補助等を行います。また、設置促進のため、区有地の活用も検討していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20～23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・障害者入所支援施設(知的障害者対象)0所	・障害者入所支援施設(知的障害者対象) 24年度以降に開設予定	-	・社会福祉法人の選定	・法人による国庫補助申請	・法人による建設 ・建設費補助の実施
事業費(千円)	総事業費 100,980	-	1,980	-	99,000

番号	131212	枝事業名	グループホーム(知的)の設置促進	所管部	福祉部
内容	<p>障害者グループホーム(知的障害者を主たる対象者)を設置する社会福祉法人等に対し、施設整備費の補助を行うことにより、グループホームの設置を促進するとともに、障害者の地域生活を充実する体制を強化し、入所施設等から地域生活へ移行する障害者の支援を行います。</p> <p>(拡充内容)知的障害者グループホームを3所設置</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・知的障害者グループホーム3所(高田馬場よつば寮、ぼけっと、西落合ホーム)16人	・障害者グループホーム(知的障害者対象者)3所(計6所)	・設置の促進1所 ・建設費補助の周知	・設置の促進1所 ・建設費補助の周知	・設置の促進1所 ・建設費補助の周知	-
事業費(千円)	総事業費 9,375	3,125	3,125	3,125	-
番号	131213	枝事業名	グループホーム(精神)の設置促進	所管部	健康部
内容	<p>受け入れ条件が整えば退院可能な精神障害者の地域における支援体制構築のため、障害者グループホーム(精神障害者を主たる対象者)1所の設置を促進します。</p> <p>(拡充内容)障害者グループホームを1所設置</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・2所	・1所(計3所)	・施設整備の検討			→
事業費(千円)	総事業費 -	-	-	-	-

番号	131214	枝事業名	障害者通所施設（精神）等の整備促進	所管部	健康部
内容	<p>障害者自立支援法の施行に伴う新たな事業体系への移行を予定している区内の精神障害者施設に対して、施設整備に必要な経費の一部を助成し整備を促進します。</p> <p>（拡充内容）精神障害者施設（日中活動系）として、4所の整備を促進します。</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・3所（予定）	・4所（計7所）	・2所	・2所	-	-
事業費（千円）	総事業費 18,000	8,000	10,000	-	-

セーフティネットの整備・充実

番号	131310	計画事業名	ホームレス及び支援を要する人の自立促進	総事業費	318,732
事業概要	<p>路上生活に至った原因が様々なホームレスの自立支援には、ホームレス一人ひとりに合った、きめ細かな対応が必要です。まず法外による相談や就労指導等、自立への支援を行い、生活保護に至らないようにします。また、生活保護に至った者に対しては、社会資源の活用や生活習慣確立のための支援を行います。さらに、居宅生活している被保護者世帯等には、経済的支援だけでなく、地域社会への参加や就労機会への再挑戦ができるように援助して、自立に向けたきめ細かな支援をしていきます。</p>				
番号	131311	枝事業名	拠点相談事業	所管部	福祉部
内容	<p>就労や健康または借金などの問題を抱えるホームレスに対し、拠点相談所で、柔軟性、専門性を持った相談員による相談や適切な情報提供など自立のための助言を行います。その他にも、法律、住宅、借金、健康、アルコールの4名の専門相談員が、月1～2回程度、曜日を決めて相談に応じます。</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・拠点相談所が福祉事務所と連携することで、通院や就労の確保をしている	・ホームレスの自立支援の推進	<p>・相談業務（社会福祉士3人、精神保健福祉士1人）</p> <p>・ハローワーク等関係機関への同行による支援</p>			
事業費（千円）	総事業費 91,580	22,895	22,895	22,895	22,895

番号	131312	枝事業名	自立支援ホーム	所管部	福祉部
内容	路上生活が短く、就労意欲の高いホームレスに対し、NPOが借り上げたアパート2戸を「自立支援ホーム」とし、そこで一定期間、計画的、集中的に就労支援、生活指導を行います。こうした法外支援により、安定した就労の確保とアパートへの転宅を実現し、再び路上生活に戻らず安定した生活を営めるよう支援します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・アパート2戸を利用し、1戸に2人の環境(同時に4人まで) ・1人原則3ヶ月として、年間20人程度	・ホームレスの自立支援の推進	・就労支援 ・日常生活訓練(NPOが借上げたアパート2戸を利用)			
事業費(千円)	総事業費 39,104	9,776	9,776	9,776	9,776
番号	131313	枝事業名	宿泊所等入所者相談援助事業	所管部	福祉部
内容	宿泊所に生活指導員を配置し、入所者への生活相談や健康管理の支援を行います。一般の宿泊所での生活が困難な元ホームレスの入所者に対し、介護施設等への入所の促進を図ります。また、土曜、日曜、夜間にも、区民や関係機関からの通報に対して、緊急時の保護相談等に対応していきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・入所者への生活相談や健康管理の支援	・安定した生活への支援	・入所者への生活相談(主任生活相談員1名、生活援助相談員2名) ・健康管理の支援 ・緊急時の保護相談等			
事業費(千円)	総事業費 49,088	12,272	12,272	12,272	12,272

番号	131314	枝事業名	生活サポート	所管部	福祉部
内容	<p>すでにアパート等で生活しているものの未だ基本的な生活習慣が十分に回復しておらず、地域社会での生活が安定していない元ホームレスの被保護者世帯に対し、柔軟性と専門性を持った団体と連携し、きめ細かい訪問、相談等を行い、安定した自立生活の維持を支援していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・被保護者の社会参加、日常生活の自立の支援	・地域社会での安定した自立生活の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活安定促進事業(・安否確認・日常生活における健康管理・金銭管理の指導・家賃の支払い確認と指導等) 			→
事業費(千円)	総事業費 49,760	12,440	12,440	12,440	12,440
番号	131315	枝事業名	被保護者自立促進事業(新宿らいふさぽーとぷらん)	所管部	福祉部
内容	<p>被保護者の自立促進のために、居宅生活している被保護者世帯 義務教育就学中の子と親の被保護者世帯 を対象に、被保護者の潜在している能力や意欲等を引き出し、勤労意欲の向上や地域社会への参加などの生活する力を育めるように就労前支援をしていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・日常生活習慣確立のための支援	・就労、自立生活の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・被保護者自立促進事業(・生命の大切さ、健康保持、安全管理に関する支援・規則正しい生活に関する支援・礼儀作法、社会生活に関する支援) 			→
事業費(千円)	総事業費 89,200	22,300	22,300	22,300	22,300

2 だれもがいきいきとくらし、活躍できるまち

高齢者の社会参加、自己実現の機会の提供

番号	132110	計画事業名	高齢者の社会参加といきがづくりの拠点整備	所管部	健康部
事業概要	<p>元気な高齢者や団塊の世代の経験や能力を活用し、身近な地域での人のつながりや地域交流の活性化を図っていくことが求められています。高齢者やシニア世代にも幅広く利用される施設が必要とされるため、一部のことぶき館を、従来のことぶき館機能にボランティアなど社会貢献活動の拠点とする新たな機能を加えた、(仮称)シニア活動館として整備していきます。</p> <p>(拡充内容)一部のことぶき館に社会貢献活動の拠点とする新たな機能を加え、(仮称)シニア活動館として整備します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・ことぶき館 20館(年度末をもって1館廃止)	・(仮称)シニア活動館 1館	・(仮称)シニア活動館 1館 高田馬場第一(モデル館)	→	・(仮称)シニア活動館 高田馬場第一(本格活用)	-
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-

障害のあるひとの社会参加・就労支援

番号	132210	計画事業名	障害のある人への就労支援の充実	総事業費	-	
事業概要	障害者自立支援法の5つの柱の一つである「障害者がもっと働ける社会の構築」のため、就労支援体制の一環として、障害者の就労支援事業の充実と、就労支援の場の充実を図ります。					
番号	132211	枝事業名	障害者就労支援の充実	所管部	福祉部・健康部	
内容	<p>障害者自身の就労意欲向上のための支援として、一定期間の訓練が実施できるような適切な支援システムの構築を図っていきます。20年度に設置予定の（仮称）新宿仕事センターにおいて、就労支援コーディネーター等による就労体験の機会の提供等を行うとともに、インターンシップなど多様な職種を体験できる環境を整え、就労を希望する障害者の支援を行います。</p> <p>（拡充内容）（仮称）新宿仕事センターにおいて、専門的で適切な支援を行っていきます。</p>					
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標(20～23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・就労する障害者数は着実に増加している。 ・区役所内障害者インターンシップ事業においても、着実に成果を上げている。	・福祉施設から一般就労への移行者数を26人以上とする。	・障害者就労支援事業 （・区役所内インターンシップの充実 ・受入れ企業の開拓と企業の支援 ・就労継続のための支援等）			→	
事業費（千円）	総事業費 （再掲）147,188	（再掲）37,829	（再掲）37,829	（再掲）37,829	（再掲）33,701	
番号	132212	枝事業名	高田馬場福祉作業所の建替えと新体系制度への移行	所管部	福祉部	
内容	<p>老朽化した高田馬場福祉作業所を障害者自立支援法の新体系に基づくサービス提供を行うことができる施設に移転・建替えし、利用者や地域の障害者の就労支援の場を提供できる施設としてその充実を図ります。</p> <p>移転先の施設は、リサイクル活動センターとともに、一体的に整備します。</p> <p>（拡充内容）・障害者自立支援法の新体系に基づくサービス提供を行うことができる施設への移行 ・施設の移転・建替え</p>					
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標(20～23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
昭和46年に建設された建物が老朽化し、大規模な耐震補強と改修が必要である。	障害者自立支援法の新体系に基づくサービスを提供する施設へ移行	・施設整備検討	-	・障害者自立支援法の新体系への移行 ・設計	・施設整備	
事業費（千円）	総事業費	-	-	-	-	

新たな就労支援のしくみづくり

番号	132310	計画事業名	(仮称)新宿仕事センターによる支援		所管部	地域文化部	
事業概要	<p>新たに「(仮称)新宿仕事センター」を設立し、就労意欲はあっても現実的に就労に結びついていない障害者、高齢者、若年非就業者に対して、多様な就労機会の提供やコーディネートを行うなどの就労支援を行っていきます。</p> <p>(拡充内容) (仮称)新宿仕事センターの設立</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・「(仮称)仕事センター」の設立準備 ・就労支援推進事業の実施 ・コミュニティショップ及びサテライトオフィスの設置 4箇所 ・ジョブサポーターの登録数 10人	・(仮称)仕事センターの設立 ・コミュニティショップ及びサテライトオフィスの設置 8箇所 ・ジョブサポーターの登録数 20人	・(仮称)仕事センターの設立 ・就労支援推進事業の実施 ・高齢者就業支援事業助成 ・障害者就労福祉センター運営助成 ・障害のある人への就労支援	・(仮称)仕事センターの運営				
事業費(千円)	総事業費 952,812	229,059	249,795	250,893	223,065		

だれもが安心して住み続けられる豊かな住まいづくり

番号	132410	計画事業名	特別な支援を必要とする人への居住支援	総事業費	22,633	
事業概要	<p>民間賃貸住宅への入居が困難となっている高齢者、障害者及びひとり親世帯の居住の安定を図るとともに、災害により住宅を失った区民の被災直後の居住の安定を図ります。</p>					
番号	132411	枝事業名	災害時居住支援	所管部	都市計画部	
内容	<p>火災等の災害により住居を失ったり、居住できなくなった世帯が、一時的な居住場所として民間賃貸住宅等に入居した場合、住宅確保に要する経費の一部を一定期間助成します。</p> <p>(拡充内容) 新たな助成制度の創設</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
-	・助成件数 単身世帯64世帯 複数世帯64世帯	・助成実施 単身世帯16世帯 複数世帯16世帯				
事業費(千円)	総事業費 19,400	4,850	4,850	4,850	4,850	

番号	132412	枝事業名	高齢者等入居支援	所管部	都市計画部
内容	<p>保証人が見つからず、民間賃貸住宅への入居が困難となっている高齢者、障害者及びひとり親世帯に対し、協定保証会社へのあっ旋により円滑に入居が可能となるようにするとともに、一定の要件を満たす世帯には保証委託料の一部を助成します。</p> <p>(拡充内容) 保証委託料の一部を助成する対象に、高齢者に加え、20年度から、障害者とひとり親世帯を追加します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・協定保証会社へのあっ旋 ・保証委託料助成 20件	・協定保証会社へのあっ旋 ・保証委託料助成 100件	・協定保証会社へのあっ旋 ・保証委託料助成 25件 (累計25件)			
事業費(千円)	総事業費 3,233	774	842	756	861

番号	132420	計画事業名	分譲マンションの適正な維持管理及び再生への支援	所管部	都市計画部
事業概要	<p>分譲マンションの良好な維持・管理を促進するため、建物の維持・保全及びマンション管理組合の運営に関する啓発活動、相談及び情報提供を行います。</p> <p>(拡充内容) 分譲マンションの建替え、改修に関する各種アドバイザー制度を利用した管理組合等に対し、アドバイザー派遣料の一部を助成します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・相談22回 ・実務研修講座1回 ・セミナー1回 ・管理組合交流会2回	・相談88回 ・実務研修講座4回 ・セミナー4回 ・管理組合交流会8回 ・アドバイザー助成72件	・相談22回 ・実務研修講座1回 ・セミナー1回 ・管理組合交流会2回 ・アドバイザー助成18件			
事業費(千円)	総事業費 4,040	1,010	1,010	1,010	1,010

番号	132430	計画事業名	区営住宅の再編整備（早稲田南町地区）		所管部	都市計画部	
事業概要	<p>老朽化が進んでいる早稲田南町地区の区営住宅は、規模が狭小でエレベーターが設置されていません。また早稲田南町第2アパートは容積率に対して有効利用が図られていません。そのため早稲田南町第2アパートを建替えにより更新し有効利用を図るとともに、居住水準の向上を図ります。</p> <p>（拡充内容）早稲田南町第2アパートの建替え更新</p>						
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・早稲田南町第2アパートの建替えに関する入居者説明	早稲田南町第2アパート ・基本・実施設計等 ・居住者仮移転	・早稲田南町第2アパートの建替えに関する入居者説明	・早稲田南町第2アパートの建替えに関する入居者説明	・早稲田南町第2アパートの建替え同意	・早稲田南町第2アパートの建替え 基本・実施設計等 居住者仮移転		
事業費（千円）	総事業費 76,822	500	500	1,000	74,822		

3 災害に備えるまち

災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり

番号	133110	計画事業名	建築物の耐震性強化	総事業費	776,560
事業概要	建築物の耐震化を促進することにより、市街地の防災性を向上させ、災害に強い安全なまちづくりを目指します。また、建築基準法で定められている、定期報告の報告率を向上させるとともに新築建築物の中間・完了検査率の向上を図り、安全・安心な建築物づくりを促進します。				
番号	133111	枝事業名	建築物等耐震化支援事業	所管部	都市計画部
内容	建築物の耐震化を促進するため次の各種助成を行い、19年度策定の耐震改修促進計画に基づき、27年度までに区内住宅の耐震化率90%達成を目標に事業推進を図ります。 ・木造住宅及び非木造住宅の耐震診断等に要する経費への助成 ・木造住宅の耐震補強工事に要する経費への助成 ・ブロック塀除去に要する経費への助成 ・がけの現況調査のための技術者派遣				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・予備診断(木造・非木造・がけ) 235件 ・木造:耐震調査・計画費助成 50件 ・木造:耐震補強工事費助成 40件 ・非木造:診断費助成 40棟 ・ブロック塀除去費助成 10件	・予備診断(木造・非木造・がけ) 940件 ・木造:耐震調査・計画費助成 200件 ・木造:耐震補強工事費助成 160件 ・非木造:診断費助成 160棟 ・ブロック塀除去費助成 40件	・予備診断(木造・非木造・がけ) 235件 ・木造:耐震調査・計画費助成 50件 ・木造:耐震補強工事費助成 40件 ・非木造:診断費助成 40棟 ・ブロック塀除去費助成 10件			
事業費(千円)	総事業費 776,036	194,009	194,009	194,009	194,009

番号	133112	枝事業名	安全・安心な建築物づくり	所管部	都市計画部
内容	建築基準法で定められている安全性を確保するために、新築建築物の中間・完了検査率及び既存建築物の定期報告率の向上を図り、災害に強い都市づくりを推進していきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・啓発・指導・相談	・啓発・指導・相談	・啓発・指導・相談			→
事業費(千円)	総事業費 524	131	131	131	131

番号	133120	計画事業名	道路・公園の防災性の向上	総事業費	615,260
事業概要	防災機能の強化を図るべき地区の道路・公園を整備し、災害に強いまちづくりを進めていきます。				
番号	133121	枝事業名	(仮称)富久公園の整備	所管部	環境土木部
内容	19年度に取得した公務員宿舍跡地を富久地域の防災活動に資する公園として整備し、地域の防災性と居住環境の向上を図ります。また、周辺道路のカラー舗装化や案内板の設置により災害時の公園への誘導を推進します。 (拡充内容)公園の新設				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・公園用地取得 4,551㎡ ・建物解体、設計	・公園の新設	・公園整備	・周辺導道路のカラー舗装、案内板設置		
事業費(千円)	総事業費 206,100	160,050	46,050		
番号	133122	枝事業名	百人町三・四丁目地区の道路・公園整備	所管部	環境土木部
内容	百人町三・四丁目地区内における良好な住環境整備と広域避難場所としての防災機能の強化を図るため、地区計画で定めた道路(区画街路2号、5号)や西戸山公園園路の整備を進めます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・整備未完了区画街路 4路線	・一部整備完了(2号線) ・整備完了(5号線)	・用地取得(2号線)	・設計 ・用地取得(5号線)	・整備(2号線、公園路)	・整備(5号線)
事業費(千円)	総事業費 409,160	124,030	99,030	141,050	45,050

番号	133130	計画事業名	道路の無電柱化整備	所管部	環境土木部
事業概要	<p>主要な区道において、電線類を地下に埋設し、電柱を撤去することにより、災害に強いまちづくりを進めるとともに、歩行空間のバリアフリー化や美しい都市景観の創出を図ります。また、再開発等の機会をとらえ、事業者等に整備を要請していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
区道における無電柱化率 9.7%	<ul style="list-style-type: none"> 三栄通り 560m (24年度完了) 補助72号線(期) 217m 区道における無電柱化率 10.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 三栄通り設計 	<ul style="list-style-type: none"> 三栄通り(期)地中化工事 補助72号線(期)地中化工事 	<ul style="list-style-type: none"> 三栄通り(期)地中化工事 	<ul style="list-style-type: none"> 三栄通り(期)地中化工事 補助72号線(期)設計
事業費(千円)	総事業費 927,410	10,500	371,500	267,500	277,910

番号	133140	計画事業名	木造住宅密集地区整備促進	所管部	都市計画部
事業概要	<p>若葉・須賀町地区において、住宅の建替えや共同化を促進するとともに、道路、公園等の公共施設を整備し、防災性と居住環境の向上を図ります。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設整備 建替え促進助成 	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地等買収(143㎡) 建替え促進助成 	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地等買収(26㎡) 建替え促進助成 	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地等買収(27㎡) 	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地等買収(61㎡) 	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地等買収(29㎡)
事業費(千円)	総事業費 439,962	66,018	211,144	124,946	37,854

番号	133150	計画事業名	再開発による市街地の整備	総事業費	5,754,592
事業概要		防災・安全・居住環境等の課題を抱える地区について、地元権利者等の参加による市街地再開発事業を支援し、安全で安心して住めるまち、地域の特性が活きるまち、みどりの多い快適なまちの実現を誘導します。			
番号	133151	枝事業名	市街地再開発事業助成	所管部	都市計画部
内容		次の地区を対象に、都市再開発法に基づく手続き、再開発組合運営の支援及び補助金交付を行います。 ・西新宿六丁目西第6地区 ・西新宿八丁目成子地区 ・西新宿五丁目中央北地区 ・西富久地区			
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
1 事業地区 西新宿六丁目西第6地区 西新宿八丁目成子地区 2 準備地区 西新宿五丁目中央北地区 西富久地区	1 事業地区 西新宿五丁目中央北地区 西富久地区 2 完了地区 西新宿六丁目西第6地区 西新宿八丁目成子地区	事業促進			
事業費(千円)	総事業費 5,751,104	1,562,500	2,503,144	1,159,880	525,580
番号	133152	枝事業名	市街地再開発の事業化支援	所管部	都市計画部
内容		次の地区を対象に、市街地再開発準備組合の活動支援を行います。 ・西富久地区 ・西新宿五丁目中央南地区 ・西新宿三丁目西地区 ・西新宿五丁目北地区 なお、西富久地区については、市街地再開発事業の国庫補助の新規採択に当たって必要となる税収効果分析調査を行います。			
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
5 地区 西富久地区 西新宿五丁目中央北地区 西新宿五丁目中央南地区 西新宿三丁目西地区 西新宿五丁目北地区	4 地区 西富久地区 西新宿五丁目中央南地区 西新宿三丁目西地区 西新宿五丁目北地区	支援			
事業費(千円)	総事業費 3,488	1,919	523	523	523

災害に強い体制づくり

番号	133210	計画事業名	地域防災拠点と避難施設の充実		総事業費	1,808,577
事業概要	区民の生命、身体、及び財産を災害等から守るため、災害情報システムや地域住民の救援拠点となる地域センター機能の充実を図っていきます。					
番号	133211	枝事業名	災害情報システムの整備		所管部	区長室
内容	<p>昭和56年度から整備した同報系防災無線の老朽化に対応するとともに、区内の建物環境の変化によって生じた音声の届かない地域を解消するため、設備機器の更新を行います。なお、防災区民組織には防災ラジオに代わる一斉情報配信システム用戸別受信機を配備します。</p> <p>(拡充内容) 同報系防災無線機器のデジタル化を実施します。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・屋外拡声子局98局中、約19局で音声伝達が困難	・屋外拡声子局を2局増設し、100局全ての局で音声伝達が可能な体制を整備	・調査・検討	・調査・設計	・第一次整備工事 屋外拡声子局70局 戸別受信機350台(うち、一斉情報配信システム200台)	・第二次整備工事 屋外拡声子局30局	
事業費(千円)	総事業費 752,394	2,772	4,946	533,788	210,888	
同報系防災無線とは、区本部からの避難勧告等災害情報を区民及び防災区民組織等に伝達するために設置・配備している、屋外拡声子局(屋外スピーカー)及び戸別受信機(防災ラジオ)のことであります。						
番号	133212	枝事業名	災害時地域本部の非常電源設備の整備		所管部	地域文化部
内容	<p>災害時に地域本部として位置づけられ、地域住民への支援等の拠点となる「地域センター」の機能を充実させるため、非常用電源設備の運転可能時間を2日間程度に整備していきます。</p> <p>(拡充内容) 全ての地域本部において非常用電源設備の運転可能時間を2日間程度以上に整備していきます。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・2所(榎町落合第二)整備済み ・1所(戸塚)整備計画済み	7所整備	7所設計	牛込筆筈 落合第一 柏木 各地域センター整備	四谷 角筈 各地域センター整備	若松 大久保 各地域センター整備	
事業費(千円)	総事業費 1,056,183	19,098	444,465	296,310	296,310	

4 日常生活の安全・安心を高めるまち

犯罪の不安のないまちづくり

番号	134110	計画事業名	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進	所管部	区長室
事業概要	<p>「新宿区民の安全・安心の推進に関する条例」に基づき、地域における具体的かつ継続した防犯活動を推進していくことを前提とした重点地区を区内全域に広めていきます。また、警察等と連携を図りながら区民の活動を側面から支援していきます。</p> <p>(拡充内容) 毎年10地区を重点地区に指定します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・重点地区を述べ数で30地区指定 ・防犯パトロールの強化等安全で安心して暮らせるまちづくりを推進	・各年度ごとに重点地区を新たに10地区指定し、延べ数で70地区を指定	・重点地区指定10地区(計40地区) ・重点地区指定地域、パトロール協力団体への支援 ・防災・防犯意識啓発活動の推進	・重点地区指定10地区(計50地区)	・重点地区指定10地区(計60地区)	・重点地区指定10地区(計70地区)
事業費(千円)	総事業費 33,997	8,368	8,543	8,543	8,543

消費者が安心して豊かにくらしを築くまちづくり

主な経常事業

- | | |
|-------------|--|
| 消費生活相談 | <ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談員が、消費生活に関わる苦情や要望、問い合わせに応えるとともに、様々なトラブルについて「あっせん解決」を図ります。 悪質商法の被害防止に向けた普及啓発活動として、消費生活相談員が地域への出張相談や戸別訪問相談を行います。 |
| 消費者情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 情報冊子「くらしの情報」を発行するなど、消費生活に関する情報をタイムリーに提供します。 |
| 消費者講座 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者教育の一環として、学習の機会・場を提供し、消費者の自立を目指した消費者講座を実施します。また、地域や団体に専門相談員を派遣する出前講座を実施します。 |
| 消費生活展 | <ul style="list-style-type: none"> 消費生活に関する正しい知識の普及と消費者団体の自主活動発表の場として、消費生活展を開催します。 |
| 消費者活動の事業助成等 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者団体の健全かつ自主的な活動を助成することで、団体活動の促進を図り、消費者活動を行なう区民の拡大を図ります。 |

持続可能な都市と環境を創造するまち

1 環境への負荷を少なくし、未来の環境を創るまち

資源循環型社会の構築

番号	141110	計画事業名	ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進	総事業費	4,443,968
事業概要	持続可能な資源循環型社会の構築のため、ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進を図ります。				
番号	141111	枝事業名	資源回収の推進	所管部	環境土木部
内容	資源循環型社会の構築を目指し、 集団回収、 古紙回収、 びん・缶回収、 ペットボトル回収、 乾電池回収、 白色トレイ回収など資源回収を推進します。特に、地域住民との協働で資源回収を進める集団回収を推進していきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・ 集団回収参加率 概ね50%	・ 集団回収参加率 62%	・ 資源回収の実施 ・ 集団回収参加率 53%	・ 集団回収参加率 56%	・ 集団回収参加率 59%	・ 集団回収参加率 62%
事業費(千円)	総事業費 2,673,824	666,256	667,747	669,271	670,550
番号	141112	枝事業名	プラスチックの資源回収の推進	所管部	環境土木部
内容	20年(2008)度から23区で実施する廃プラスチックのサーマルリサイクルにあわせて、プラスチック製容器包装の資源回収を区内全域で実施し、資源のさらなる有効活用を図っていきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・ モデル地区(区内世帯の13.4%)での実施(予測量302t)	・ 区内全域で実施 ・ プラスチックの回収 3,000t(区民一人あたり年間10kg)	・ プラスチックの回収(区内全域)			
事業費(千円)	総事業費 1,758,456	439,614	439,614	439,614	439,614
番号	141113	枝事業名	ごみの発生抑制の推進	所管部	環境土木部
事業概要	ごみの発生抑制を基本としたごみの減量とリサイクルの推進に向けて、区民、事業者及び区による意見交換の場として「(仮称)3R推進協議会」を設置し、相互に理解を深めながら、レジ袋削減対策などごみ発生抑制等に関する取り組みを推進していきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
	・ レジ袋削減等に取り組む事業者の増加	・ 容器包装実態調査 ・ 協議会の設立、運営 ・ シンポジウム等啓発事業			
事業費(千円)	総事業費 11,688	4,422	2,422	2,422	2,422

地球温暖化対策の推進

番号	141210	計画事業名	地球温暖化対策の推進	総事業費	63,300
事業概要	平成20(2008)年度から京都議定書の削減計画期間に入り、温室効果ガスの削減が一層求められています。区では、区民、事業者等に対する地球温暖化対策に向けたさまざまな取り組みを進めていきます。				
番号	141211	枝事業名	事業者の省エネルギーへの取り組みの促進・支援	所管部	環境土木部
内容	省エネ法によるエネルギー管理者の選任等が義務付けられていない中小事業者の省エネ行動を促進するため、省エネルギー診断や環境マネジメントシステム認証取得助成等、中小事業者向けの各種施策を実施し、産業・業務部門における温室効果ガスの削減を図ります。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・区の助成を受けて環境マネジメントシステム認証取得した事業者10社	・区の助成を受けて環境マネジメントシステム認証取得した事業者40社(計50社)	・省エネルギー診断 ・環境マネジメント認証助成10社 ・省エネ技術研修セミナーなど	→	→	→
事業費(千円)	総事業費 28,276	7,069	7,069	7,069	7,069
番号	141212	枝事業名	区民の省エネルギーへの取り組みの促進・支援	所管部	環境土木部
内容	区民一人ひとりの省エネルギーに対する意識向上を図り、身近な省エネ行動を始めるきっかけとなるよう、環境家計簿、環境にやさしい暮らしコンテストなどの施策を実施し、家庭部門における温室効果ガス削減を図ります。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・環境家計簿事業参加者183人(18年度末)	・環境家計簿事業参加者230人	・環境家計簿 ・環境にやさしい暮らしコンテスト ・省エネ普及啓発連続講座ほか	→	→	→
事業費(千円)	総事業費 35,024	8,756	8,756	8,756	8,756

良好な生活環境づくりの推進

番号	141310	計画事業名	清潔できれいなトイレづくり	所管部	環境土木部
事業概要	<p>老朽化した公園トイレ及び公衆トイレを清潔で誰もが利用しやすい、バリアフリー化に配慮したトイレに改修します。 整備にあたっては、利用状況等の現況調査を行い、配置方針や整備の優先度等を検討し、整備計画を作成し、計画的に整備を行います。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・平成以前に設置された未改修の公園及び公衆トイレ 20ヶ所	・改修済み公園及び公衆トイレ 6ヶ所	・現況調査及び整備計画作成	・トイレ改修工事 2ヶ所	・トイレ改修工事 2ヶ所	・トイレ改修工事 2ヶ所
事業費(千円)	総事業費 181,763	10,403	57,120	57,120	57,120

番号	141320	計画事業名	路上喫煙対策の推進	所管部	環境土木部
事業概要	<p>受動喫煙やたばこの火による被害を防止するため、路上喫煙禁止に対する区民、事業者、来街者等への啓発を促進するとともに、区内主要駅周辺で継続的なキャンペーンとパトロールによる指導を進め、きれいなまちづくりを進めていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・駅周辺での路上喫煙率 1.17%	・駅周辺での路上喫煙率 0.5%(23年度)	・路上喫煙禁止のパトロール、キャンペーン ・普及啓発(路面標示、標識の設置等)			→
事業費(千円)	総事業費 703,560	206,840	168,240	164,240	164,240

環境問題への意識啓発

番号	141410	計画事業名	環境学習・環境教育の推進	所管部	環境土木部
事業概要	<p>区民一人ひとりが環境問題に関心を持ち、実践行動に結びつけられるよう環境学習・環境教育を推進します。そのために、学校教育における環境教育を推進するため「環境教育推進計画」を策定するとともに、環境学習情報センターを核とした環境学習や啓発事業を実施していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・総合的学習の時間等における環境教育 ・環境学習、啓発事業の実施	・環境教育推進計画に基づく学習プログラムの制度化 ・環境学習、啓発事業における参加者の増	・環境教育推進計画の策定 ・環境学習、啓発事業	・環境教育推進計画報告書作成	・環境教育冊子(改定版)の作成	・計画の推進 →
事業費(千円)	総事業費 27,012	5,844	7,385	8,498	5,285

2 都市を支える豊かな水とみどりを創造するまち

水とみどりの環の形成

番号	142110	計画事業名	区民ふれあいの森の整備			所管部	環境土木部
事業概要	おとめ山公園に隣接する公務員宿舎跡地を取得して、おとめ山公園とあわせた「区民ふれあいの森」として整備し、みどりの拡充を図るとともに、区民がみどりとふれあう機会を創出していきます。						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・おとめ山公園 約1.5ha ・取得予定地 約1ha	・区民ふれあいの森の一部開園	・用地買収折衝	・用地取得 ・基本計画作成	・調査及び設計 ・建物解体	・一部区画の整備、開園		
事業費(千円)	総事業費 6,427,540	250	6,047,050	247,150	133,090		

番号	142120	計画事業名	玉川上水を偲ぶ流れの創出の推進			所管部	環境土木部
事業概要	新宿御苑の散策路に、「玉川上水を偲ぶ流れ」として水の流れと遊歩道を整備し、江戸東京の水の歴史的シンボルとして、また区民憩いの場として活用し、自然環境の再生を図ります。なお、整備は500m区間を3区に分けて段階的に実施していきます。(1区：インフォメーションセンター前～旧新宿門 100m、2区：旧新宿門～管理門 100m、3区：管理門～大木戸門 300m)						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・基本計画作成	・全区間(500m)の整備完了(23年度)	・1区(100m)設計	・1区 整備工事 ・2区(100m)設計	・1区 維持管理 ・2区 整備工事 ・3区(300m)設計	・2区 維持管理 ・3区 整備工事		
事業費(千円)	総事業費 643,390	9,055	162,445	166,445	305,445		

みどりを残し、まちへ広げる

番号	142210	計画事業名	新宿りっぱな街路樹運動			所管部	環境土木部
事業概要	新宿のシンボルになる「りっぱな街路樹」のある道路空間づくりを進めます。そのために、新宿通り等において道のサポーターや沿道利用者と維持管理の調整を進めながら、緑量のある街路樹へと整備していきます。 (拡充内容)新宿通りでは街路樹下に花壇を設置するなど、現存のプラタナスを活かした整備を行います。						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・シンボルロード整備完了区間2路線	・シンボルロード整備区間5路線(計7路線)	・街路樹整備(新宿通り期、早大理工学部横*)	・街路樹整備(新宿通り一部)	・街路樹整備(三栄通り一部*、補助72号線期*)	・街路樹整備(三栄通り一部*)		
事業費(千円)	総事業費 97,580	34,600	61,480	1,000	500		

*印は、道路の改良、道路の無電柱化、都市計画道路事業により整備

番号	142220	計画事業名	新宿らしい都市緑化の推進	総事業費	128,430
事業概要	都市化が進む新宿区において、可能な限り多くの場所で様々な手法により花やみどりを創出する取り組みを進めていきます。				
番号	142221	枝事業名	みんなでみどり公共施設緑化プラン	所管部	環境土木部
内容	区立小・中学校をはじめとする区有公共施設において様々な手法により多様なみどりを創出します。また、河川の護岸や道路の植樹帯等の特色ある緑化を進め、みどりに親しめる潤いのある都市空間を形成・誘導していきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・学校緑化45ヶ所 ・護岸緑化6区間 ・道路緑化5ヶ所 ・芝生緑化5ヶ所 ・バス停緑化2ヶ所ほか	・学校等区有施設の緑化 20ヶ所(計65) ・護岸緑化4(計10) ・道路緑化4(計9) ・芝生緑化4(計9) ・バス停緑化4(計6)ほか	・学校等区有施設の緑化 5ヶ所 ・護岸緑化1区間 ・道路緑化1ヶ所 ・芝生緑化1ヶ所 ・バス停緑化1ヶ所ほか	→		
事業費(千円)	総事業費 89,500	22,000	22,250	22,500	22,750
番号	142222	枝事業名	空中緑花都市づくり	所管部	環境土木部
内容	都市化の進展が著しく、地上部に緑化の余地が少ない新宿区において、新たにみどりを増やす有効な手段である屋上や壁面などの建築物の緑化を「空中緑花」と位置づけ、緑化の推進に向けて普及啓発を図っていきます。 (拡充内容)20年度からは、屋上緑化・壁面緑化に対する助成を行います。 助成額 ・屋上緑化 工事費の1/2(上限30万円)年間10件まで ・壁面緑化 工事費の1/2(上限10万円)年間10件まで				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・区役所本庁舎の屋上緑化見本園の運営等による普及啓発	・区の助成により屋上緑化等を実施した建築物 80件	・屋上緑化助成 10件 壁面緑化助成 10件 ・普及啓発	→		
事業費(千円)	総事業費 18,400	4,600	4,600	4,600	4,600

番号	142223	枝事業名	新宿花いっぱい運動の推進	所管部	環境土木部
内容	<p>新宿のまちが花やみどりであふれる美しく潤いのある都市空間となることを目指し、商店街等の道路空間や公共施設をハンギングバスケットやプランター等により緑化を進めます。花の維持管理については地域や道のサポーターとの協働により行っていきます。</p> <p>また、「りっぱな街路樹運動」などとも連携しながら「花いっぱい運動」を広げていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・ハンギングバスケット等設置(商店街等50)(公共施設40)	・ハンギングバスケット等の新設(商店街等40)(公共施設40)	・ハンギングバスケット等の新設(商店街等10)(公共施設10) ・りっぱな街路樹運動による花壇等の設置(再掲)	→	→	→
事業費(千円)	総事業費 20,530	5,185	6,151	4,387	4,807

番号	142230	計画事業名	樹木、樹林等の保護	所管部	環境土木部
事業概要	<p>民有地の大きな樹木、まとまった樹林、りっぱな生垣を、保護樹木、保護樹林、保護生垣に指定し、維持管理費の一部を助成することにより、都市部における貴重なみどりを保護していきます。</p> <p>(拡充内容) 災害による枝折れなど緊急時の維持管理助成枠の拡大</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・保護樹木の指定 1,012本	・保護樹木の指定 1,052本	・保護樹木等の指定、助成(保護樹木10本増) ・緊急時助成	→	→	→
事業費(千円)	総事業費 40,197	9,353	10,132	10,281	10,431

番号	142240	計画事業名	アユやトンボ等の生息できる環境づくり			総事業費	37,584	
事業概要	区民が水辺や生き物などの自然に触れ合える環境づくりを進めるため、親水施設やビオトープなどの整備を進めていきます。							
番号	142241	枝事業名	アユが喜ぶ川づくり			所管部	環境土木部	
内容	<p>神田川や妙正寺川をアユ等の水生生物が生息し、区民が水辺に親しめることができるよう、河川公園や神田川ふれあいセンターを整備・運営するとともに、東京都の河川改修事業にあわせてアプローチ等の親水施設を整備します。</p> <p>また、「神田川ファンクラブ」の運営を継続して行い、子どもたちの水辺に親しむ機会を増やしていきます。</p> <p>(拡充内容) 神田川ふれあいセンター(戸塚地域センター内)の開設・運営 神田川河川公園(戸塚地域センター前)の整備</p>							
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・親水施設整備 8ヶ所	・親水施設整備5ヶ所(ふれあいセンター含む) (計13ヶ所)	・神田川ファンクラブの運営	・河川事業による親水施設整備(神高橋付近、西落合公園付近に4施設) ・神田川河川公園整備	・神田川ふれあいセンター開設運営				
事業費(千円)	総事業費	9,800	600	6,300	1,450		1,450	
番号	142242	枝事業名	生き物の生息できる環境づくり			所管部	環境土木部	
内容	<p>区立公園や学校などに生き物の生息に配慮した空間(ビオトープ)を創出することにより、チョウやトンボが飛び交う自然環境の実現を図るとともに、区民が自然とふれあう機会を提供します。</p> <p>(拡充内容) 公園等に地域拠点となるビオトープを2ヶ所整備します。 20年度から新宿中央公園ビオトープを一般開放します。</p>							
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・ビオトープ推進地区(3ヶ所) ・学校ビオトープ 25校	・地域拠点ビオトープの整備(2ヶ所)	・地域拠点ビオトープの設計 ・整備、維持管理(学校ビオトープ、新宿中央公園)	・地域拠点ビオトープの整備(1ヶ所)	・地域拠点ビオトープの設計	・地域拠点ビオトープの整備(1ヶ所)			
事業費(千円)	総事業費	27,784	4,971	8,921	4,971		8,921	

3 人々の活動を支える都市空間を形成するまち

だれもが自由に安全に行動できる都市空間づくり

番号	143110	計画事業名	ユニバーサルデザイン・ガイドラインの策定と推進		所管部	都市計画部
事業概要	ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを進めるため、有識者等で構成する検討委員会を設置し、ガイドラインを策定します。ガイドライン策定後は、区民や事業者等に対して、ガイドラインの普及啓発を行いユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
未策定	・ガイドラインの策定及び普及・啓発	・検討委員会の設置 ・ガイドラインの検討	ガイドラインの策定	ガイドラインの普及・啓発	ガイドラインの普及・啓発	
事業費(千円)	総事業費 16,274	5,329	9,745	600	600	

番号	143120	計画事業名	交通バリアフリーの整備推進		総事業費	490,104
事業概要	平成17年に策定した交通バリアフリー基本構想に基づき、重点整備地区(高田馬場駅周辺地区・新宿駅周辺地区)の整備促進を図るとともに、重点整備地区以外の鉄道駅についても、エレベーター設置補助等によりバリアフリー化を推進していきます。					
番号	143121	枝事業名	鉄道駅のバリアフリー化		所管部	都市計画部
内容	交通バリアフリー推進委員会、推進部会及び関係事業者と調整・協議を行いながら、特定事業計画の着実な推進を図るとともに、鉄道駅のエレベーターの設置に対して補助を行い、交通バリアフリーの積極的な整備を促進していきます。					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・関係機関との調整・協議	・交通バリアフリー推進委員会・部会の開催 ・エレベーター設置補助 3駅	・交通バリアフリー推進委員会・部会の開催 ・エレベーター設置補助 西武線下落合駅 JR大久保駅	・エレベーター設置補助 JR新大久保駅		→	
事業費(千円)	総事業費 211,304	140,326	70,326	326	326	

番号	143122	枝事業名	道路のバリアフリー化	所管部	環境土木部
内容	交通バリアフリー基本構想に基づき、区は道路特定事業者として重点地区（高田馬場駅周辺地区・新宿駅周辺地区）における区道のバリアフリー化整備（歩行空間の確保、段差の解消、誘導ブロックの設置等）を進めていきます。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・特定事業計画の策定（高田馬場駅周辺地区、新宿駅周辺地区）	・高田馬場駅周辺9路線整備完了 ・新宿駅周辺整備完了	・高田馬場駅周辺道路（補助72号線駅南側の一部及び3路線）整備 ・新宿駅周辺調査	・高田馬場駅周辺道路（補助72号線駅南側の一部及び3路線）整備 ・新宿駅周辺設計	・高田馬場駅周辺道路（補助72号線駅北側及び1路線）整備 ・新宿駅周辺整備	・事業検証
事業費（千円）	総事業費 278,800	95,200	93,200	90,200	200

番号	143130	計画事業名	新宿駅周辺地区の整備推進	総事業費	2,550,712
事業概要	新宿駅周辺の回遊性を高め、駅周辺の均衡のとれた発展を図るため、歩行者空間の整備拡大を促進します。				
番号	143131	枝事業名	東西自由通路の整備	所管部	都市計画部
内容	新宿駅の地下東西自由通路の整備は、鉄道施設で分断された駅の東口地域と西口地域の歩行者回遊動線を確保し、新宿駅周辺地域をより一層、にぎわいのある都市空間としていくものです。新宿駅の改札内通路（青梅通路）を自由通路として整備するため、区はJR東日本と事業の促進を図ります。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・現況調査 ・都市計画決定（予定）	・補助金交付（基本設計～工事）	・補助金交付（基本設計）	・補助金交付（詳細設計）	・補助金交付（工事）	・補助金交付（工事）
事業費（千円）	総事業費 2,550,712	170,178	240,178	1,070,178	1,070,178
番号	143132	枝事業名	東口駅前広場の再編整備	所管部	都市計画部
内容	東口広場を車中心から歩行者中心の広場に再編整備します。そのため、施設管理者等関係者と整備計画について検討していきます。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・現況調査	・検討	・検討			→
事業費（千円）	総事業費 -	-	-	-	-

番号	143133	枝事業名	モールの検討	所管部	都市計画部
内容	新宿通りを中心に、一般車両を制限し、道路を歩行者に開放するモール化の実現方策について、地元及び交通管理者等と協働で検討していきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・現況調査	・検討	・検討			→
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-
番号	143134	枝事業名	靖国通り地下通路延伸	所管部	都市計画部
内容	既存の靖国通り地下通路(新宿サブナード)と地下鉄副都心線のコンコース間を歩行者ネットワークとして、民間資金の活用による整備を図ります。あわせて、地下街、地下駐車場の整備についても検討します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・現況調査 ・都市計画決定(予定)	・検討	・検討			→
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-

番号	143140	計画事業名	高田馬場駅周辺の整備推進	所管部	都市計画部・環境土木部
事業概要	主要ターミナル駅であり、周辺に福祉施設の集積する高田馬場駅において、戸山口や駅周辺道路を誰もが歩きやすく、利用しやすい環境に整備・促進するとともに、魅力と賑わいのある駅前空間の創出を目指して、鉄道事業者や地域と協議をしながら整備を進めていきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・戸山口周辺調査	・駅周辺の整備方針作成及び道路等の整備	・駅周辺整備方針策定 ・地域、関係機関等協議 ・道路のバリアフリー化事業による整備(再掲)	・戸塚地域センターアクセス道路の整備	・駅前広場等整備計画策定	・整備推進 →
事業費(千円)	総事業費	34,600	13,400	15,400	5,400
				400	

番号	143150	計画事業名	中井駅周辺の整備推進			所管部	都市計画部	
事業概要	中井駅周辺について、駐輪対策や利用しやすい駅の整備などの課題を解決するため、環状6号線の拡幅事業に伴う中井富士見橋の架け替えにより発生する高架下空間を利用し 駅前広場整備・自転車駐輪場の整備 駅改良（北口設置・バリアフリー等）を行います。							
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・現況調査	・区民、関係事業者、道路事業者との調整 実施設計	・区民、関係事業者、道路事業者との調整	・区民、関係事業者、道路事業者との調整	・区民、関係事業者、道路事業者との調整	・区民、関係事業者、道路事業者との調整		・実施設計	
事業費（千円）	総事業費 5,320	80	80	80	5,080			

交通環境の整備

番号	143210	計画事業名	自転車等の適正利用の推進			総事業費	440,066	
事業概要	放置自転車の減少・解消に向けて、駐輪場を整備するとともに、撤去や声かけ等の啓発活動を行います。また、自動二輪車対策への取り組みを開始することにより、自転車等の適正利用を推進し、安全で歩きやすい交通環境を整備していきます。							
番号	143211	枝事業名	区内各駅の駐輪場整備			所管部	環境土木部	
内容	放置自転車の減少・解消に向けて、23年度までに区内全駅に自転車駐輪場を設置します。また、駐輪場の利用を促進するための案内板を整備します。							
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・整備済駅数 23駅	・整備駅数 10駅 うち新設の区内駅 8（区内全31駅に 設置完了）	・西早稲田駅	・西新宿駅 ・落合駅 ・初台駅（駅舎 は渋谷区）	・国立競技場前 駅 ・都電早稲田駅	・四谷三丁目駅 ・牛込神楽坂駅 ・都電面影橋駅 ・中井駅（中井 駅周辺の整備推 進事業による再 整備）			
事業費（千円）	総事業費 25,360	10,840	5,340	3,840	5,340			
番号	143212	枝事業名	放置自転車の撤去及び啓発			所管部	環境土木部	
内容	放置自転車対策として、条例に基づく撤去活動を行うとともに、駅周辺での整理指導員による「声かけ」や地域住民との協働による啓発活動を進め、自転車を放置させない環境をつくっていきます。							
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・区内における 放置自転車台数 約4,000台	・区内における放置 自転車台数 約3,200台	・啓発活動実施 24駅 （新規：新宿西 口駅）	・啓発活動実施 25駅 （新規：西早稲 田駅）	・啓発活動実施 26駅 （新規：若松・ 河田駅）	・啓発活動実施 27駅 （新規：都電早 稲田駅）			
事業費（千円）	総事業費 410,166	99,342	101,475	103,608	105,741			

番号	143213	枝事業名	自動二輪車の駐車対策	所管部	環境土木部
内容	<p>路上に放置されている自動二輪車対策を進めるため、空きスペースのある区営駐輪場内等に自動二輪車駐車を整備するとともに、民間駐車場への受入要請を継続的に行っていきます。</p> <p>(拡充内容)自動二輪車駐車を3ヶ所整備します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
	・自動二輪車駐車の整備 3ヶ所	・実態調査等	・自動二輪車駐車の整備 1ヶ所	・自動二輪車駐車の整備 1ヶ所	・自動二輪車駐車の整備 1ヶ所
事業費(千円)	総事業費 4,540	10	1,510	1,510	1,510

番号	143220	計画事業名	地域活性化バスの整備促進	所管部	都市計画部
事業概要	<p>事業者による新宿駅周辺における循環型バスの運行により、新宿駅周辺地区の駐車場・商業施設・観光スポット・駅等を結び、回遊性の確保と魅力あふれるまちづくりを目指します。</p> <p>また、区内に無数ある急な坂道などの移動の制約を緩和し、区内移動の利便性の向上と、地域活動の活性化を目指し新宿区全域における地域バスの整備について検討を行っていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・新宿駅周辺における都心循環型バスの運行事業者の決定及び運行計画の策定	・新宿駅周辺循環型バス事業者による運行 ・地域バスの検討新宿区全域における地域バスの検討	・新宿駅周辺循環型バス事業者による運行 ・地域バスの検討新宿区全域における地域バスの検討			
事業費(千円)	総事業費 1,552	388	388	388	388

道路環境の整備

番号	143310	計画事業名	都市計画道路の整備(補助第72号線)	所管部	環境土木部
事業概要	<p>新宿駅付近から高田馬場駅付近を結ぶ都市計画道路補助第72号線の未開通区間のうち、第1期区間(大久保通り~諏訪通り)を重点的に整備して、周辺地域の活性化、周辺道路の混雑緩和を図ります。</p> <p>また、第2期区間(職安通り~大久保通り)についても、早期整備に向けて用地の買取請求等に対応していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・第1期区間の用地買収	・第1期区間の平成23年度開通	・第1期区間の重点整備(用地買収)	・第1期区間の重点整備(無電柱化工事等)	・第1期区間の重点整備(道路整備)	・開通
事業費(千円)	総事業費 1,758,318	1,368,918	190,800	193,800	4,800

番号	143320	計画事業名	人にやさしい道路の整備	総事業費	856,752
事業概要	安全で快適な歩行空間を確保するとともに、生活する人が安心して暮しやすい道路整備を進めていきます。				
番号	143321	枝事業名	環境に配慮した道づくり	所管部	環境土木部
内容	環境に配慮した道路舗装を実施することで、ヒートアイランド現象の抑制を目指します。また、多摩の間伐材を利用した木製防護柵（ガードフェンス）を設置することで、まちに潤いや温もりを与えるとともに、資源の有効活用を図っていきます。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・遮熱透水性舗装 面積4,196㎡ ・木製防護柵延長372m	・遮熱透水性舗装 面積5,200㎡ ・木製防護柵 延長400m	・遮熱透水性舗装 面積1,300㎡ ・木製防護柵 延長100m			→
事業費（千円）	総事業費 152,000	38,000	38,000	38,000	38,000
番号	143322	枝事業名	人とくらしの道づくり	所管部	環境土木部
内容	歩行者の安全と住環境の改善を図るため、地域との協働で整備計画を策定し、生活道路における通過交通の排除、走行速度の抑制、歩行空間のバリアフリー化等の視点に立った暮らしやすい道づくりを進めます。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・新宿一・二丁目地区の整備完了	・新規地区の整備（60%）	・新規地区の指定	・地域との協働による整備計画の策定	・整備工事 30%	・整備工事 30%（計60%）
事業費（千円）	総事業費 73,202	562	2,400	35,120	35,120
番号	143323	枝事業名	道路の改良	所管部	環境土木部
内容	歩行者の安全性の確保及び景観の向上を図るため、区道の整備路線を重点化し、舗装改良工事を実施します。また、工事にあたっては、環境配慮型工事を実施します。				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・整備路線28路線（14年度～）	・7路線の整備 2,460m	2路線の整備 650m（中井通り 期、早大理工学部横）	2路線の整備 680m（中井通り 期、社会保険病院通り 期）	2路線の整備 580m（社会保険病院通り 期、蜀江坂通り）	1路線の整備 550m（新小川町）
事業費（千円）	総事業費 631,550	181,600	148,980	164,640	136,330

番号	143330	計画事業名	細街路の整備	総事業費	1,006,184
事業概要	<p>新宿区には、幅が狭い道路（細街路）が多く残っています。区民、事業者の理解と協力のもとに、細街路の拡幅整備を進め、安全で快適な災害に強いまちづくりの実現を目指します。</p> <p>また、建築基準法施行規則改正（平成22年4月1日施行）により、特定行政庁が、建築基準法上指定した道路について、「指定道路図」及び「指定道路調書」を整備・閲覧することが義務づけられました。このことにより、建築や土地の売買を行なおうとする方に対し、事前的に的確な情報提供を行い建築主等の負担の軽減と適切な建築確認申請の実施を誘導します。</p>				
番号	143331	枝事業名	細街路の拡幅整備	所管部	都市計画部
内容	<p>幅員4m未満の細街路を「新宿区細街路拡幅整備条例」に基づき整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 区道沿いの拡幅部分については、後退用地の寄付又は無償使用承諾を得て区域に編入し、区が直接整備工事を行い、整備後は区が管理します。 一定の条件に適合する私道も建築主の整備依頼により区が整備工事を行いません。 				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
細街路延長 224km （区道： 99km・私道： 125km）	協議・拡幅延長： 約24km	協議・拡幅延長： 6km （区道：350か所×10m＋私道：270か所×9m）			→
事業費（千円）	総事業費 543,286	135,720	135,720	136,126	135,720
番号	143332	枝事業名	指定道路図等の整備	所管部	都市計画部
内容	<p>道路中心線から2m後退する位置及び位置指定道路の位置について調査測量等を行い、「指定道路図」及び「指定道路調書」を整備し閲覧を行います。</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・未策定	・指定道路図及び指定道路調書整備	・道路調査：1000件 ・指定道路図・指定道路調書を策定	・道路調査：750件 ・指定道路図・指定道路調書を策定	・道路調査：750件 ・指定道路図・指定道路調書を策定	-
事業費（千円）	総事業費 463,304	185,180	139,062	139,062	

番号	143340	計画事業名	まちをつなぐ橋の整備			所管部	環境土木部
事業概要	東京都の河川改修事業にあわせて、景観にも配慮した橋の架け替えを行います。また、老朽化した橋を効率的・計画的に補修工事を行うため、点検調査要領を策定し、要領に基づく点検及び補修工事を行っていきます。						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・区が管理する橋 58橋	<ul style="list-style-type: none"> 架け替え 1橋 補修工事 5橋以上 点検要領策定 	<ul style="list-style-type: none"> 架け替え1橋(無名橋) 補修工事2橋(宮田橋、田島橋) 点検要領策定 	<ul style="list-style-type: none"> 補修工事3橋(新空橋、栄橋、大正橋) 点検調査 	<ul style="list-style-type: none"> 補修工事(未定) 	→	→	
事業費(千円)	総事業費 67,698	40,070	25,428	1,100	1,100		

まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

1 歴史と自然を継承した美しいまち

地域特性に応じた景観の創出・誘導

番号	151110	計画事業名	景観に配慮したまちづくりの推進			総事業費	19,000
事業概要	<p>現行の景観基本計画を改定した景観法に基づく景観計画を策定・運用するとともに、地域住民との協働により、(仮称)景観形成推進地区の指定などの取組みを推進します。</p>						
番号	151111	枝事業名	景観計画の策定		所管部	都市計画部	
内容	<p>現行の景観基本計画を改定した景観法に基づく景観計画を策定・運用します。 また、景観まちづくり相談員を活用した景観事前協議制度については、区独自の施策として継続します。</p> <p>(拡充内容)・景観行政団体 ・景観法に基づく景観計画の策定</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
平成3年に策定された現行の景観基本計画に基づき景観事前協議制度等を実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく景観計画の策定、運用 ・景観事前協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく景観行政団体 ・景観事前協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく景観計画の策定・運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画の運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画の運用 	→	
事業費(千円)	総事業費 12,000	3,000	3,000	3,000	3,000		
番号	151112	枝事業名	景観形成推進地区の指定			所管部	都市計画部
内容	<p>特定の地区において独自の景観形成基準を設定することで、景観形成を推進する地区として(仮称)景観形成推進地区を地域住民との協働により指定します。</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
未指定	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成推進地区指定調査等 	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成推進地区指定調査等 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成推進地区指定調査等 		
事業費(千円)	総事業費 7,000	0	0	3,500	3,500		

2 地域の個性を活かした愛着をもてるまち

地域主体のまちづくりとそれを支えるしくみづくり

番号	152110	計画事業名	地区計画等を活かした地域の個性豊かなまちづくりの推進		総事業費	121,600	
事業概要	地区計画は、公共施設の配置や建築物の形態制限などを「まちづくりのルール」として規定し、地域特性に沿ったまちの将来像の実現を目指すものです。この地区計画制度を活用した、区民主体のまちづくりを推進します。						
番号	152111	枝事業名	神楽坂地区		所管部	都市計画部	
内容	地区内に残る貴重な路地景観を保全し、あわせて道路からの見晴らし空間を確保することにより、良好な市街地環境の形成を図ります。また、地区内の防災性の向上を進めるとともに、にぎわいや活気にあふれる街並みの形成を目指します。						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
地区計画策定	推進	推進				→	
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-	-	
番号	152112	枝事業名	新宿六丁目西北地区		所管部	都市計画部	
内容	交通の利便性などの立地特性を活かし、拠点敷地の開発整備とあわせて、地区外周部の街並みや都市機能の維持改善、オープンスペースの確保を進めるとともに、賑わい、文化、交流の拠点の形成、良好な街並み形成及び都市居住の推進を図ります。						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
地区計画策定	推進	推進				→	
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-	-	

番号	152113	枝事業名	地区計画の策定			所管部	都市計画部
内容	<p>地域の課題にきめ細かく対応していくために、地域住民との協働によりまちづくり活動を行い、地区計画等を定めていきます。</p> <p>(想定地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市谷柳町地区 ・中落合一丁目地区 ・新宿駅東口地区 ・下落合二～四丁目地区 ・四谷駅前地区 ・西早稲田地区 ・西新宿五丁目北地区 ・富久地区 ・西新宿三丁目西地区 ・西新宿五丁目中央南地区 						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20～23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
地区計画策定地区 9地区 91.1ha	各地区計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画等の策定 ・まちづくり相談員の派遣 				→	
事業費(千円)	総事業費 121,600	30,400	30,400	30,400	30,400		

3 ぶらりと道草したくなるまち

楽しく歩けるネットワークづくり

番号	153110	計画事業名	歩きたくなる道づくり	総事業費	141,744
事業概要	まちの記憶や水とみどりを活かした散歩道や案内施設を整備し、誰もが歩きたくなる道づくりを進めていきます。また、健康いきがづくりのためのウォーキングコースを設定します。				
番号	153111	枝事業名	水辺とまちの散歩道整備	所管部	環境土木部
事業概要	東京都の実施する河川改修事業等にあわせて、快適で潤いのある神田川、妙正寺川沿いの散歩道を整備します。また、橋名の由来等の案内板を設置し、歩きたくなる歩行者空間の充実を図ります。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・整備済散歩道(神田川 3,650m、妙正寺川 790m) ・設置済案内板 11	・神田川散歩道整備 250m (計3,900m) ・妙正寺川 散歩道整備 300m (計1,090m) ・設置済案内板 7 (計18)	・散歩道整備(神田川:豊水橋~淀橋) 250m ・案内板設置 1ヶ所	・案内板設置 1ヶ所	・散歩道整備(妙正寺川:四村橋~北原橋) 300m ・案内板設置 5ヶ所	・東京都と調整
事業費(千円)	総事業費 106,040	46,080	1,080	58,816	64
番号	153112	枝事業名	いきいきウオーク新宿	所管部	健康部
内容	気軽にできるウォーキングや低負荷遊具の活用を通じて、高齢者の健康生きがいがづくりや介護予防を推進します。そのため、これまで行っているウォーキング協会やレクリエーション協会などの地域団体との協働をさらに充実させるとともに、ウォーキングコースの整備や高齢者用の低負荷遊具を公園に設置し「いきいきパーク」として活用します。 (拡充内容) ウォーキングコースを2コース、いきいきパークを8公園整備します。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・区全域を対象としたウォーキングイベントの開催 1回	・ウォーキングコースの整備 2コース ・低負荷健康遊具の設置 8公園 ・区全域を対象としたウォーキングイベントの開催 4回	・ウォーキングコースの整備 1コース ・低負荷健康遊具の設置 2公園 ・区全域を対象としたウォーキングイベントの開催 1回	→		→
事業費(千円)	総事業費 25,204	7,951	7,951	4,651	4,651

番号	153113	枝事業名	まちの案内施設整備	所管部	環境土木部
事業概要	地域に親しまれている道路の通称名を公募等により選定し、その通称名板をまちの案内施設として設置することにより、地域に愛されるまちづくりを進めます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・整備済通称名板 17路線	・通称名の選定、通称板の設置 10路線	・通称名の選定 5路線	・通称名板の設置 5路線 ・通称名の選定 5路線	・通称名板の設置 5路線	
事業費(千円)	総事業費 10,500	200	5,200	5,100	

魅力ある身近な公園づくりの推進

番号	153210	計画事業名	魅力ある身近な公園づくりの推進	総事業費	204,574
事業概要	誰もが利用したくなる公園整備を目指して、公園づくり基本計画を策定するとともに、地域住民との協働により魅力ある身近な公園整備を進めていきます。				
番号	153211	枝事業名	魅力ある身近な公園づくり基本計画の策定	所管部	環境土木部
内容	区民に愛される魅力ある公園を目指し、「魅力ある身近な公園づくり基本計画」を策定します。策定にあたっては、公園の配置・再整備方針、協働の視点に立った管理運営方針などをまとめ、今後の公園整備・運営の指針にしていきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
-	・魅力ある身近な公園づくり基本計画の策定	・現況調査	・基本計画策定 ・検討会の運営	・計画書作成 ・検討会運営	・計画推進
事業費(千円)	総事業費 18,800	8,100	8,600	2,000	100
番号	153212	枝事業名	みんなで考える身近な公園の整備	所管部	環境土木部
内容	地域の小規模な公園の改修にあたって、「魅力ある身近な公園づくり基本計画」を踏まえつつ、公園周辺の住民と協働して改修計画案を作成するなど住民参加による公園の再整備を行います。また、新宿中央公園では防災機能を強化した施設整備を行っていきます。				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・「みんなで考える身近な公園の整備」による整備済公園 5園(15年度~)	・整備済公園 3園(計8園) ・新宿中央公園防災設備改修	・西大久保児童遊園改修工事 ・新宿中央公園整備(放送設備)	・新宿中央公園整備(照明設備)	・公園改修計画、工事 1園 ・新宿中央公園整備(自家発電施設)	・公園改修計画、工事 1園
事業費(千円)	総事業費 185,774	55,064	70,570	38,570	21,570

まちの「広場の利用」の推進による新たな交流の場の創出

番号	163120	計画事業名	歌舞伎町地区のまちづくり推進	所管部	企画政策部
事業概要		(再掲) - 3 -			
番号	163123	枝事業名	歌舞伎町活性化プロジェクトの展開(シネシティ広場の活用)	所管部	地域文化部
番号	163127	枝事業名	大久保公園のイベント広場としての活用	所管部	環境土木部

多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

1 成熟した都市文化が息づく、魅力豊かなまち

文化・歴史の掘り起こし、継承・発展・発信

番号	161110	計画事業名	文化・歴史資源の整備・活用			総事業費	26,000	
事業概要	新宿の文化・歴史資源をまちづくりに積極的に活かすために、「漱石山房」の復元を始め、貴重な文化・歴史資源の整備・活用を進めていきます。併せて、今後の新宿区の文化・芸術施策の指針となる「(仮称)文化芸術基本条例」を、専門家や関係者、区民とともに考え、策定します。							
番号	161111	枝事業名	漱石山房の復元に向けた取り組み			所管部	地域文化部 環境土木部	
内容	夏目漱石の晩年の居宅である「漱石山房」の復元に向けた取り組みを行っていきます。平成19(2007)年度に整備した「漱石公園」等を拠点とした漱石に関する情報発信、イベント等を行ない復元に向けた機運を高めるとともに、「漱石山房」復元に向けた調査・検討を行なっていきます。							
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・漱石生誕140年記念事業の実施 ・漱石公園の整備	・「漱石公園」等を拠点とした漱石に関する情報発信、イベント等の実施	・「漱石公園」等を拠点とした漱石に関する情報発信、イベント等の実施 ・漱石山房復元に向けた調査・検討						
事業費(千円)	総事業費 20,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
番号	161112	枝事業名	落合の文化・歴史資源の整備・活用			所管部	地域文化部 教育委員会	
内容	落合地域に今も残る「中村彝」や「佐伯祐三」のアトリエなど貴重な文化・歴史資源を整備・保存し、後世に永く伝えていくとともに、施設の公開等による積極的な活用・情報発信を行うことで、区民の地域の文化や歴史に対する愛着や誇りを育み、地域文化の振興を図っていきます。 (拡充内容)佐伯公園内「佐伯祐三アトリエ」を整備して、区民・来街者等へ公開できるようにします。							
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画						
		20年度	21年度	22年度	23年度			
・保存対象、活用方法を決定するしくみづくりの検討	・佐伯公園内「佐伯祐三アトリエ」の区民・来街者等への公開	・「佐伯祐三アトリエ」内部の公開に向けた調査・検討 ・その他落合地域の文化歴史資源の保存・活用	・「佐伯祐三アトリエ」内部の公開方法等の検討・整備 ・その他落合地域の文化歴史資源の保存・活用	・「佐伯祐三アトリエ」内部の公開 ・その他落合地域の文化歴史資源の保存・活用	・「佐伯祐三アトリエ」内部の公開 ・その他落合地域の文化歴史資源の保存・活用			
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-			

番号	161113	枝事業名	(仮称)文化芸術基本条例の策定		所管部	地域文化部	
内容	<p>「文化芸術のまち新宿」の実現を目指す行動指針として、(仮称)文化芸術基本条例を策定し、区民・関係団体、事業者・学校・区等のそれぞれの役割を示します。なお、策定段階から区民の参画を求めるとともに、フォーラムの開催、リーフレットの作成による条例の趣旨の周知など、機会を捉えて区民の関心を高めていきます。</p> <p>(拡充内容)(仮称)文化芸術基本条例の策定</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・他自治体の事例の調査検討	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)文化芸術基本条例の策定及びこれに基づく総合的な文化・芸術施策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討組織による調査・検討 ・学識委員、関係者、公募区民委員等からなる懇談会における検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学識委員、関係者、公募区民委員等からなる懇談会における検討 ・条例の策定 ・周知のためのイベント等の実施 				
事業費(千円)	総事業費 6,000	2,500	3,500				

区民による新しい文化の創造

番号	161210	計画事業名	地域のお宝発掘		所管部	地域文化部	
事業概要	<p>区民の身近に埋もれている「地域のお宝」を、地域の人々との連携・協力により再発見していきます。また、地域のイベントなどで紹介することで、より多くの区民が地域の文化に関心を持ち、愛着を高めるしかけづくりを行います。</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域のお宝」の募集・情報発信 ・関連するイベント等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民・地域からの「地域のお宝」応募件数 年200件 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域のお宝」の募集・情報発信 年200件 ・関連するイベント等の実施 					
事業費(千円)	総事業費 6,000	1,500	1,500	1,500	1,500		

番号	161210	計画事業名	文化体験プログラムの展開			所管部	地域文化部
事業概要	<p>区民の自主的な文化・芸術活動を活発化し、地域文化の活性化を図るため、区内で活動する文化芸術団体や芸術家などと協働し、区民が低廉で気軽に文化芸術体験ができる「文化体験プログラム」を実施します。</p> <p>団塊の世代の参加等も見据え、プログラムの対象を成人まで拡大するとともに、実施期間も夏休み以外に広げていきます。</p> <p>(拡充内容)文化体験プログラムの対象を成人まで拡大します。</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・小中高生等を対象とした文化体験プログラムの実施 9プログラム	・小中高生向けに加え、成人までを対象とした文化体験プログラムを年15プログラム実施	文化体験プログラムの実施 15プログラム				→	
事業費(千円)	総事業費 34,000	8,500	8,500	8,500	8,500		

文化芸術創造の基盤の充実

主な経常事業

新宿文化センターの管理運営

財団法人新宿文化・国際交流財団を指定管理者として、新宿文化センターの管理運営を行っています。

新宿文化・国際交流財団運営助成

財団法人新宿文化・国際交流財団に対する運営助成を行い、次の事業を実施しています。

- ・地域文化活動の推進
- ・地域と友好都市等との交流の推進
- ・地域における国際交流の推進
- ・地域ボランティア活動への支援
- ・文化活動及び国際交流に関する調査及び広報
- ・新宿文化センターの運営及び事業の受託

2 新宿ならではの活力ある産業が芽吹くまち

文化芸術創造産業の育成

番号	162110	計画事業名	文化創造産業の誘致	総事業費	486
事業概要	<p>新宿区のこれからの産業振興にあたって欠かせない、「ビジターズ産業（賑わい産業）」の大きな核である「文化創造産業」の誘致・育成・振興を図るための施策を展開していきます。既存の産業振興策を活用した誘致育成を行っていくほか、「文化創造産業育成委員会」を設置し、新たな誘致育成策を検討し、実施していきます。</p>				
番号	162111	枝事業名	文化創造産業育成委員会の設置	所管部	地域文化部
内容	<p>平成19（2007）年度に策定予定の「産業振興プラン」における検討に引き続き、平成20（2008）年度に「文化創造産業育成委員会」を設置して、文化創造産業の誘致・育成のための、起業家育成・起業化支援策（インキュベーションシステム）を含めた支援策について検討を行っていきます。</p> <p>（拡充内容）文化創造産業育成委員会を設置して、文化創造産業の誘致・育成支援策を検討し、実施していきます。</p>				
平成19年度末の現況（予定）	当該実行計画期間中の目標（20～23年度）	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・「産業振興プラン」における検討	・文化創造産業の誘致・育成策の実施	・文化創造産業育成委員会における誘致・育成策の検討	・起業家育成の拠点の提供などの起業家育成、起業化支援策（インキュベーションシステム）等の実施		
事業費（千円）	総事業費	486	486	-	-
番号	162132	枝事業名	ものづくり産業支援（再掲）	所管部	地域文化部
番号	162133	枝事業名	ビジネスアシスト新宿（再掲）	所管部	地域文化部
番号	162134	枝事業名	新宿ものづくりマイスター認定制度（再掲）	所管部	地域文化部

番号	162120	計画事業名	(仮称)新宿文化ロードの創出		所管部	地域文化部
事業概要	<p>これまで、新宿の文化、観光の振興のために誘致してきた吉本興業株式会社、宝塚造形芸術大学、芸能花伝舎との連携を軸に、新たな新宿の文化、観光、芸術の育成と「ビジターズ産業（賑わい産業）」の活性化を図ることを目的に、「(仮称)新宿文化ロード」を創出していきます。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
	・「(仮称)新宿文化ロード」を中心とした新たな文化芸術イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・吉本興業株式会社、宝塚造形芸術大学、芸能花伝舎をメンバーとした「(仮称)新宿文化ロード創出委員会」の設置と同委員会を母体とした具体的な事業等の検討 ・文化・観光・産業施策との連携・協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)新宿文化ロード」のイベントの実施 ・文化・観光・産業施策との連携・協力 			→
事業費(千円)	総経費	-	-	-	-	-
<p>軸となる吉本興業株式会社東京本社(旧新宿区立四谷第五小学校)、宝塚造形大学新宿キャンパス、芸能花伝舎(旧新宿区立淀橋第三小学校)の活動拠点が、靖国通り~青梅街道近辺にあります。今回の試みをそれぞれの拠点を一本の道として結んで取り組んでいく事業であるということで、「(仮称)新宿文化ロード」と名づけました。</p>						

番号	162130	計画事業名	文化芸術の創造性を活かした地域産業の新たな展開への支援	総事業費	54,322	
事業概要	<p>地場産業に加え、区内の中小企業を中心とした既存の企業を「地域産業」として位置づけ、新たに文化・芸術面からの視点を加えた融資・助成の実施や、企業間、地域団体、文化芸術団体等との交流を進めることで、文化芸術の創造性を活かした地域産業の新たな発展、展開を支援していきます。</p>					
番号	162131	枝事業名	産業振興フォーラムの実施	所管部	地域文化部	
内容	<p>区内の大企業や中小企業に加え、地域団体、関係団体、区が一堂に会し、新たなビジネスチャンスの創出や新たな製品・技術開発のきっかけづくり、経営課題や地域課題についての意見交換等を目的とした「産業振興フォーラム」を開催し、地域企業の新たな発展を支援します。</p>					
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	
・フォーラムの開催	・フォーラム参加企業の満足度 50%	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム等の開催 分科会 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム等の開催 全体会 1回 分科会 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム等の開催 分科会 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム等の開催 全体会 1回 分科会 2回 	
事業費(千円)	総経費	12,732	2,658	3,758	2,558	3,758

番号	162132	枝事業名	ものづくり産業支援	所管部	地域文化部
内容	<p>技術革新や経営環境の向上を目的として取り組む区内事業所の事業等に対して、有識者、関連団体、区職員からなる「新宿区ものづくり産業支援委員会」の選定に基づき補助を行っていきます。</p> <p>選定にあたっては、文化芸術面からの技術革新、製品開発等を重視するほか、助成を受けた企業の事業成果を活かすため、「産業振興フォーラム」やその他展示会・見本市等への参加を支援したり、観光施策との連携を行なっていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・補助対象事業所 5所 ・補助対象事業費の2/3 100万円を上限	・補助対象事業所 20所	補助対象事業所 5所			→
事業費(千円)	総経費 20,960	5,240	5,240	5,240	5,240
番号	162133	枝事業名	ビジネスアシスト新宿	所管部	地域文化部
内容	<p>プロポーザルにより選定した育成企業に対し、経営・財務・税務などの専門家(公認会計士・中小企業診断士等)を継続的に派遣することで、企業の課題把握や、企業の発展段階に応じた的確なアドバイスをを行い、企業経営の課題解決と成長発展を支援していきます。</p> <p>(拡充内容)・対象、指導内容を経営改善等の分野に拡大します。・文化創造型産業の育成のため、選定企業を5企業から8企業に拡充します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
ベンチャー企業道場 応募企業数 8企業(18年度実績)	・ビジネスアシスト新宿に応募する企業を年10企業程度とします。	育成企業 8企業			→
事業費(千円)	総経費 18,160	4,540	4,540	4,540	4,540

番号	162134	枝事業名	新宿ものづくりマイスター認定制度	所管部	地域文化部
内容	<p>区内事業所に働く技術者の育成を図るため、「新宿ものづくりマイスター認定」制度を創設します。</p> <p>実施にあたっては、従来の印刷製本・染色業も含め、区内の全ての産業を対象に、高度な技術を持っている職人等を、職人文化の担い手として新宿マイスターに認定していくとともに、認定者や作品を産業振興フォーラム等で積極的に紹介していきます。</p> <p>また、新たな地域産業の担い手の育成をはかる観点から、優れた若手技術者についても認定できるような制度とします。</p> <p>(拡充内容)新宿ものづくりマイスター認定制度の創設</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
-	・20名認定	<ul style="list-style-type: none"> ・認定方法及び紹介方法等の検討 ・新宿ものづくりマイスター認定制度の開始5名程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿ものづくりマイスター認定制度の開始5名程度 ・認定者の紹介 	→	→
事業費(千円)	総経費	2,480	920	520	520

3 ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち

新しい文化と観光・産業の創造・連携・発信

番号	163110	計画事業名	新宿の魅力の発信			総事業費	14,004
事業概要	新宿にある、歴史・文化・産業・人材など、地域に根ざした多くの資源を活かし、文化観光施策や産業施策と連携していくことで、新しい「新宿の魅力」を創出し、積極的に情報発信していきます。						
番号	163111	枝事業名	(仮称)新宿文化観光ビューローの設置			所管部	地域文化部
内容	<p>ビジターズ産業(賑わい産業)の活性化のために、観光・イベント・産業などに関する企画・調査研究及び情報の収集・発信、人材の育成を行う「(仮称)新宿文化観光ビューロー」を設置します。</p> <p>(拡充内容)(仮称)新宿文化観光ビューローの設置</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・関係団体との意見交換	・(仮称)新宿文化観光ビューローの設置	・(仮称)新宿文化観光ビューローの設置に向けた検討 ・関係団体との連絡・調整・検討	・(仮称)新宿文化観光ビューローの設置に向けた検討・準備 ・関係団体との連絡・調整・検討	・(仮称)新宿文化観光ビューローの準備・設立	・(仮称)新宿文化観光ビューローの運営		
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-	-	
番号	163112	枝事業名	観光情報の整備・発信			所管部	地域文化部
内容	<p>地域産業育成事業や商店街活性化策、文化振興策と連携した「まち歩きツアー」等の実施により、新宿の新しい魅力を引き出し、来街者と新宿をつなぐ観光情報の整備・発信を行なっていきます。また、地域と連携して「地域ブランド」の創出や、ツアー等と連動した情報の発信に取り組んでいきます。</p>						
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画					
		20年度	21年度	22年度	23年度		
・観光ルートの整備 ・新宿ブランドづくり	・観光マップの年間配布数 40,000枚 ・「新宿まち歩きツアー」の電子会議室年間書き込み数 30件	・観光マップ作成 ・新宿まち歩きツアーの実施 ・地域ブランドの創出・PR					
事業費(千円)	総事業費	7,860	1,965	1,965	1,965	1,965	

番号	163113	枝事業名	観光案内制度の整備	所管部	地域文化部
内容	<p>新宿が持つ産業、文化、芸術、歴史といった多様な観光資源、魅力を充分活かし、新宿を訪れる観光客を増やしていくために、地域団体、商店会、NPO、事業者、ホテル等と連携した新たな観光案内拠点を設置していきます。</p> <p>また、東京商工会議所、東京観光財団、新宿区観光協会、生涯学習財団と連携し、新宿にふさわしい「(仮称)新宿観光シティガイド認定制度」を整備していきます。</p> <p>(拡充内容)・観光案内拠点の整備 ・(仮称)新宿観光シティガイド認定制度の実施</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
-	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内拠点数 12箇所 設置 (仮称)新宿観光シティガイドとして 毎年20名程度認定 	<ul style="list-style-type: none"> 地域等と連携した観光案内拠点の検討 (仮称)新宿観光シティガイド認定制度及び活用方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 地域等と連携した観光案内拠点の整備 (仮称)新宿観光シティガイド認定制度の実施 (仮称)新宿観光シティガイドの活用 	→	→
事業費(千円)	総事業費 6,144	36	2,036	2,036	2,036

番号	163120	計画事業名	歌舞伎町地区のまちづくり推進	総事業費	658,335
事業概要	<p>歌舞伎町を誰もが安心して楽しめるまちへと再生するため、歌舞伎町ルネッサンス推進協議会(平成17年1月設置)の下、「犯罪インフラの除去と環境美化」、「歌舞伎町からの新たな文化の創造と発信」、「健全で魅力あふれるまちづくり」など総合的な施策を展開します。また、歌舞伎町ルネッサンスの新たな担い手として歌舞伎町版タウン・マネージメント組織を設立し、繁華街版地域自治モデルを構築するとともに、シネシティ広場の活用や大久保公園のイベント広場としての活用等を進めていきます。</p>				
番号	163121	枝事業名	歌舞伎町ルネッサンスの推進(TMOの設立)	所管部	企画政策部
内容	<p>歌舞伎町ルネッサンスの実現に向けて、歌舞伎町ルネッサンス推進協議会の下に繁華街の地域自治モデルである歌舞伎町版タウン・マネージメント組織を設立し、歌舞伎町再生に向けた取組みと自主運営に向けての基盤整備を行います。</p> <p>(拡充内容)タウン・マネージメント組織の設立</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
<ul style="list-style-type: none"> クリーン作戦、地域活性化、喜兵衛、まちづくりの4つのプロジェクトを展開 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心して楽しめるまち歌舞伎町ルネッサンスの実現 	<ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎町ルネッサンス推進協議会の運営 タウン・マネージメント組織の設立・運営支援 	→	→	→
事業費(千円)	総事業費 111,455	32,528	26,309	26,309	26,309

番号	163122	枝事業名	繁華街の防犯・防災活動の推進	所管部	区長室
内容	<p>「新宿区民の安全・安心の推進に関する条例」に基づき、重点地区に指定した歌舞伎町一・二丁目地区について、歌舞伎町クリーン作戦や地域安心安全ステーション整備事業の支援、災害時帰宅困難者用一時休憩場所の確保などの対策のほか、雑居ビル安全対策をはじめとする新宿区安全・安心推進協議会の活動を推進し、繁華街の防犯・防災活動を支援します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・繁華街の防犯・防災活動の支援	・区民や来訪者が安全に安心してすごせるまち	・繁華街の防犯・防災活動の支援			
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-
番号	163123	枝事業名	歌舞伎町活性化プロジェクトの展開(シネシティ広場の活用)	所管部	地域文化部
内容	<p>歌舞伎町からの、大衆文化・娯楽を中心とした文化の創造・発信をしていくため、シネシティ広場を活用したイベントの支援を行なっていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・シネシティ広場を活用したイベントの支援	・シネシティ広場を活用したイベントの支援	・シネシティ広場を活用したイベントの支援			
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-
番号	163124	枝事業名	道路の整備	所管部	環境土木部
内容	<p>誰もが安心して集えるまちを目指し、歌舞伎町の道路(花道通り 期区間、西武新宿駅前通り)を、停車帯設置による違法駐車を排除した構造に整備し、地区内交通の円滑を図ります。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・花道通り(期)整備完了	・花道通り(期)、西武新宿駅前通り整備	・花道通り(期)整備 ・西武新宿駅前通り整備			
事業費(千円)	総事業費	118,100			

番号	163125	枝事業名	放置自転車対策	所管部	環境土木部
内容	<p>放置自転車対策として、長期放置自転車の撤去を行うとともに、自転車整理指導員を配置して自転車置き場の整理や「声かけ」による啓発活動を推進し、歌舞伎町から放置自転車をなくして安全なまちにしていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・放置自転車台数1,400台	・放置自転車台数の毎年1割減	・「声かけ」による啓発活動 ・撤去活動	・「声かけ」による啓発活動 ・撤去活動	・「声かけ」による啓発活動 ・撤去活動	・「声かけ」による啓発活動 ・撤去活動
事業費(千円)	総事業費 149,800	37,450	37,450	37,450	37,450
番号	163126	枝事業名	路上の清掃・不法看板の撤去等	所管部	環境土木部
内容	<p>歌舞伎町クリーン作戦として、区は毎週水曜日、地域団体、ボランティア等と一体となって道路上のごみの収集等を行います。また、警察等の協力により不法看板の撤去等を行うとともに、路上清掃を委託により実施し、歌舞伎町をきれいなまちにしていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・歌舞伎町クリーン作戦等の実施	・さらにきれいな歌舞伎町の実現	・歌舞伎町クリーン作戦の実施 ・不法看板等の撤去 ・路上清掃委託	・歌舞伎町クリーン作戦の実施 ・不法看板等の撤去 ・路上清掃委託	・歌舞伎町クリーン作戦の実施 ・不法看板等の撤去 ・路上清掃委託	・歌舞伎町クリーン作戦の実施 ・不法看板等の撤去 ・路上清掃委託
事業費(千円)	総事業費 222,000	55,500	55,500	55,500	55,500
番号	163127	枝事業名	大久保公園のイベント広場としての活用	所管部	環境土木部
内容	<p>区立大久保公園を大衆文化発信の拠点となるイベント広場として活用できるしくみづくりと利用促進を図るとともに、誰もが安心して集うことのできる公園として整備します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・検討	・イベント利用できる公園として整備	・大久保公園調査設計 ・イベント利用推進	・大久保公園整備		
事業費(千円)	総事業費 57,000	7,000	50,000	-	-

番号	163128	枝事業名	まちづくり誘導方針の推進	所管部	都市計画部
事業概要	<p>まちづくり全体が誘導方針に沿ってバランスよく進むようにするため、「まちづくりTMO」と連携し拠点整備や再開発を専門的立場から指導・誘導していきます。 権利者がまとまって共同建替えを行う場合、都市計画手法を活用し良好な建替えとなるよう支援していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
平成18年度に「歌舞伎町まちづくり誘導方針」が策定され、誘導方針に基づき具体的なまちづくりを推進しています。	・歌舞伎町まちづくり誘導方針に基づきまちづくりの推進	・歌舞伎町まちづくり誘導方針に基づきまちづくりの推進			
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-

誰もが、訪れたいくなる活気と魅力あふれる商店街づくり

番号	163210	計画事業名	商店街活性化支援	総事業費	673,844
事業概要	<p>地域特性を活かした魅力ある商店街づくりや地域住民と商店街の結びつきを深めた活力ある商店街づくりをより一層推進していきます。そのために、平成19(2007)年度から開始した「商店会サポーター制度」を軸に、既存の「魅力ある商店街づくり」や「商店街にぎわい創出支援」の各事業と新しく事業化する「空き店舗活用支援事業」を組み合わせ、商店街の活性化に取り組んでいきます。 また、商店街の実態や、活性化支援の成果等を踏まえ、新たな商店街活性化支援策を検討・実施していきます。</p>				
番号	163211	枝事業名	商店会サポーター制度	所管部	地域文化部
内容	<p>区内商店会の中には、組織力が弱まり、活動が衰退する傾向にあるところも多くなっています。そこで、活性化に取り組む商店会に、専門の非常勤職員である商店会サポーターを派遣して、各商店会の問題点を調査検討するとともに、その商店会にあった活性化策について区の各種支援事業等を活用した助言を行っていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・商店会サポーター制度開始	・訪問助言等を行った商店会が「効果あり」と思った割合100%	・商店会サポーター(3名)による訪問指導 ・年1回「商店会ステップアップフォーラム」等における実績報告			
事業費(千円)	総事業費	39,200	9,800	9,800	9,800

番号	163212	枝事業名	魅力ある商店街づくり	所管部	地域文化部
内容	<p>商店会等が行う魅力ある商店街づくりのため効果的であり、かつ比較的大きな資金が必要と思われる事業に補助を行っていきます。</p> <p>(補助対象事業)</p> <p>街路灯、カラー舗装、案内板等の新設・改修事業(施設整備事業)</p> <p>宅配、給食サービス、コミュニティサロン等地域と連携した事業(地域・コミュニティ事業)</p> <p>ホームページの開設、ネット販売等、商店街のIT、情報化に向けた事業(IT活用事業)</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・助成を受けた商店会が効果があったと回答した割合 100%(18年度実績)	・助成を受けた商店会が効果があったと回答した割合 100%	・魅力ある商店街づくり助成 5件			→
事業費(千円)	総事業費 280,148	70,037	70,037	70,037	70,037
番号	163213	枝事業名	商店街にぎわい創出支援	所管部	地域文化部
内容	<p>地域住民や消費者、来街者との結びつきを深めるために、商店会等が実施するイベント等の活性化事業に対し、1商店街あたり1年度2事業まで、補助を行います。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
・助成を受けた商店会が効果があったと回答した割合 98.8%(18年度実績)	・助成を受けた商店会が効果があったと回答した割合 100%	・商店街にぎわい創出支援 94件			→
事業費(千円)	総事業費 320,056	80,014	80,014	80,014	80,014
番号	163214	枝事業名	(仮称)空き店舗活用支援事業	所管部	地域文化部
内容	<p>区独自の「(仮称)空き店舗活用事業」を創設し、法人または個人等が、商店街の「空き店舗」を活用して、商店街の活性化につながる事業を自立して継続的に行う場合、その初期投資にかかる経費の一部を助成していきます。</p> <p>併せて、空き店舗等に関する相談会を、年3回開催していきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
	・支援制度を利用して活用された空き店舗数 10所	・(仮称)空き店舗活用支援事業の試行	・(仮称)空き店舗活用支援事業の実施		→
事業費(千円)	総事業費 34,440	4,110	10,110	10,110	10,110

平和都市の推進

番号	163310	計画事業名	平和啓発事業の推進	所管部	総務部 教育委員会
事業概要	<p>平和に関する認識を深めるため、「新宿区平和都市宣言」の趣旨に基づき、平和の啓発普及活動を推進します。平和展では、児童・生徒から募集した平和のポスターや区民から募集した写真等を展示します。また、平和派遣者との協働事業では映画上映会等を開催し、より多くの区民の参加を目指していきます。さらに、戦争体験者を派遣し、戦争の悲惨さと平和の大切さを若い世代に伝えていきます。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
<ul style="list-style-type: none"> 平和派遣者報告会の参加者数47名/年 平和講演会の参加者数100名/年 	<ul style="list-style-type: none"> 平和派遣者報告会の参加者数100名/年 平和講演会の参加者数120名/年 	<ul style="list-style-type: none"> 平和展の開催 親子の平和派遣事業 平和派遣者との協働事業 戦争体験者派遣事業 			
事業費(千円)	総事業費 22,290	4,025	3,624	11,017	3,624

多文化共生のまちづくりの推進

番号	163410	計画事業名	地域と育む外国人参加の促進	所管部	地域文化部
事業概要	<p>外国人を含めた様々な人々や活動団体の顔の見える関係を構築するため、住民や団体などのネットワーク化、情報の共有化を図る外国人ネットワーク連絡会を開催します。また、ネットワーク連絡会やその分科会が主体となって外国人の地域参加が促進する事業を実施していきます。さらに、今後ネットワーク連絡会を基に、外国人が意見や提案をできる場の創出を図っていきます。</p> <p>(拡充内容)外国人の地域参加を促進する事業を拡充します。</p>				
平成19年度末の現況(予定)	当該実行計画期間中の目標(20~23年度)	年度別計画			
		20年度	21年度	22年度	23年度
<ul style="list-style-type: none"> 外国人ネットワーク連絡会の開催 年延べ参加者125人 ネットワーク連絡会・分科会が主体となった外国人の地域参加が促進する事業の実施 年延べ581人 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人ネットワーク連絡会の開催 延べ参加者年160人 ネットワーク連絡会・分科会が主体となった外国人の地域参加が促進する事業の実施 延べ参加者年864人 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人ネットワーク連絡会の開催 ネットワーク連絡会・分科会が主体となった外国人の地域参加が促進する事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人ネットワーク連絡会の開催 ネットワーク連絡会・分科会が主体となった外国人の地域参加が促進する事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人ネットワーク連絡会の開催 ネットワーク連絡会・分科会が主体となった外国人の地域参加が促進する事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人ネットワーク連絡会の開催 ネットワーク連絡会・分科会が主体となった外国人の地域参加が促進する事業の実施
事業費(千円)	総事業費 16,312	3,328	3,828	4,328	4,828